TOSHIBA
Leading Innovation >>>

時間帯別電灯契約用
季節別時間帯別電灯契約用

東芝ヒートポンプ給湯機

取扱説明書（家庭用）

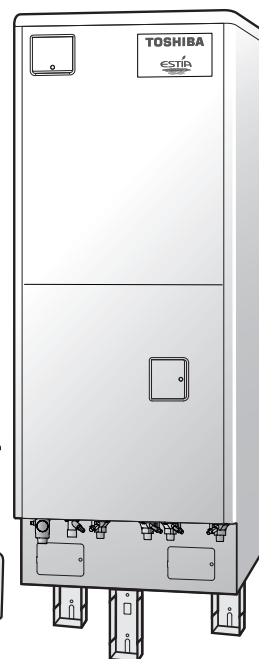
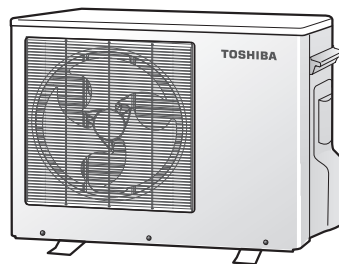
（ユニット形名との対照表は、58、59ページをご覧ください）

フルオートタイプ

一般地向け

HWH-FB371C
HWH-FB461SC
HWH-FB461C
HWH-FB561C
HWH-FB371C-Z
HWH-FB461SC-Z
HWH-FB461C-Z
HWH-FB561C-Z

寒冷地向け

HWH-FB371CN
HWH-FB461SCN
HWH-FB461CN
HWH-FB371CN-Z
HWH-FB461SCN-Z
HWH-FB461CN-Z

日本国内専用品
Use only in Japan

●このたびは東芝ヒートポンプ給湯機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
●この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書がいつでも見られるところに必ず保管してください。
●保証書、工事説明書（据付作業確認書）を販売店または工事店から必ず受けとって保存してください。

エコキュートって？

沸き上げたお湯をタンクに貯めて使います

エコキュートは、主に夜間電力を使って必要な量だけを沸き上げ、タンクに貯めて、お風呂や台所・洗面所などへ給湯します。

緊急時の連絡先をリモコンに呼び出せます
(52 ページ)

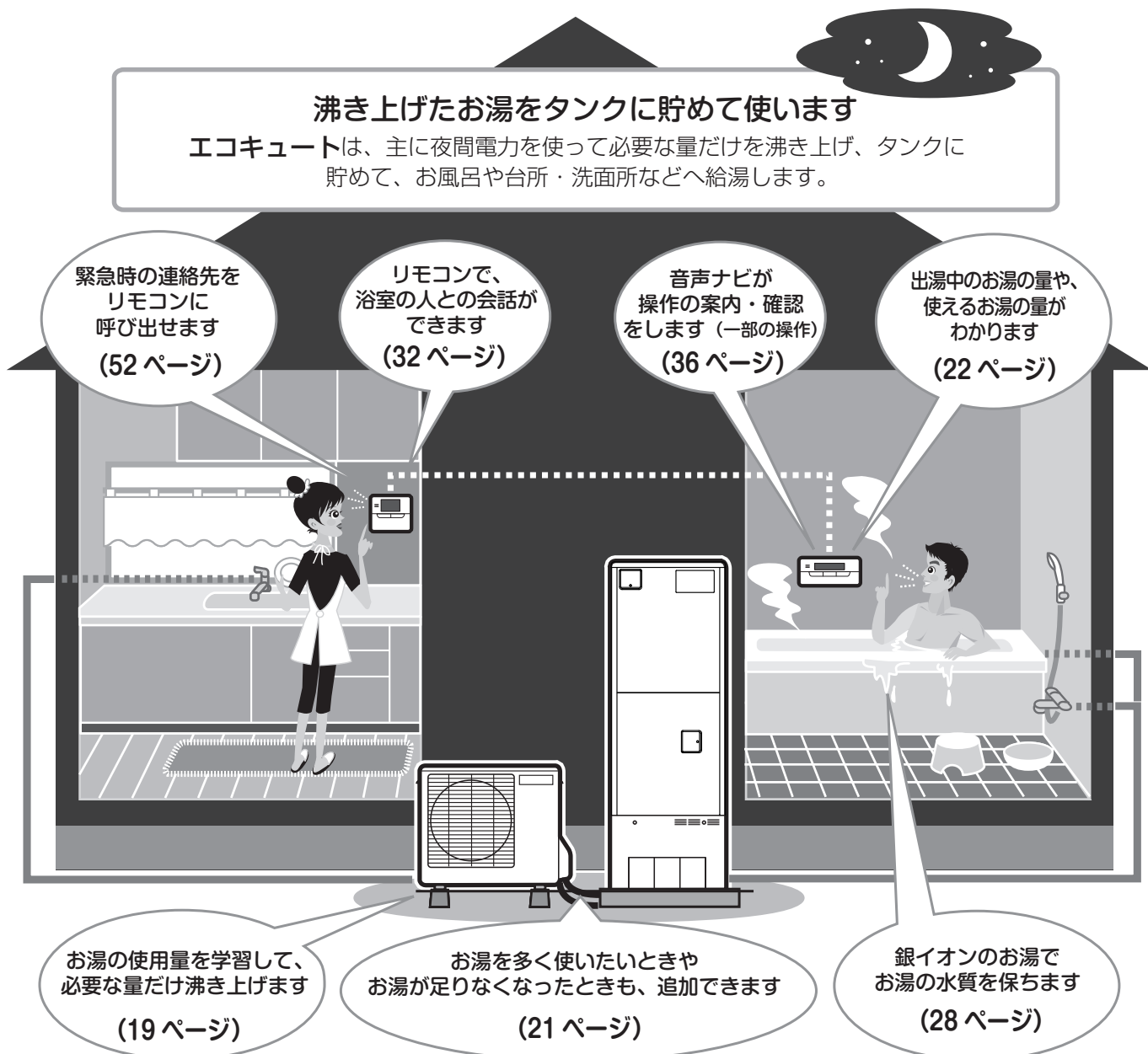
リモコンで、浴室の人との会話ができます
(32 ページ)

音声ナビが操作の案内・確認をします（一部の操作）
(36 ページ)

出湯中のお湯の量や、使えるお湯の量がわかります
(22 ページ)

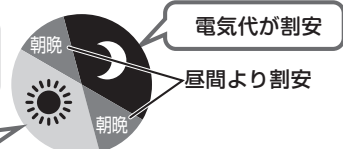
お湯の使用量を学習して、必要な量だけ沸き上げます
(19 ページ)

お湯を多く使いたいときやお湯が足りなくなったときも、追加できます
(21 ページ)

銀イオンのお湯でお湯の水質を保ちます
(28 ページ)

電力料金契約を確認してください

●**「時間帯別電灯契約」または「季節別時間帯別電灯契約」のどちらかで電力会社と契約してください。**

●時間帯別電灯契約は、昼間の電気料金を高めにして、代わりに夜間の電気料金を安くする契約です。

- 主に夜間、お湯を沸かし、昼間に使うのが基本ですので、光熱費を低減できます。
- 夜間 9 時間型、夜間 10 時間型の場合は、設定が必要です。(50 ページ)
- 夜間 8 時間型、季節別時間帯別の場合は設定は不要です。
- 電力料金契約の詳細については、最寄りの電力会社にお問い合わせください。

もくじ

ご使用の前に

安全上のご注意・・・4
お願い・・・9
お知らせ・・・9
各部のなまえとはたらき・・・10
・ヒートポンプユニット・貯湯タンクユニット
・台所リモコン・浴室リモコン
・リモコンボタン操作のロック（いたずら防止）

準備

準備をする・・・16
時刻を合わせる・・・18
お湯の沸かしかたを設定をする（沸き上げモード）・・19
・「おすすめ」モード・「たっぷり」モード

給湯

お湯を使う（給湯温度を設定する）・・・20
多めにお湯を沸かす（沸き増し）・・・21
浴室から少しお湯を沸かす・・・21
いろんなお湯の量を見る・・・22
・タンク残湯量・使えるお湯の量
・出湯中のお湯の量（給湯量NaVi）・使ったお湯の合計

お風呂

湯はりをする・・・24
・湯はり量・ふろ温度・風呂自動運転
湯はり量を自由に決める（おこのみモード）・・・26
湯はりを予約する・・・27
銀イオンの湯について・・・28
湯かげんを調節する・・・30
・あつく（高温たし湯・追いだき）・たし湯・ぬるく
リモコンで会話する・・・32
入浴タイマーの使いかた・・・33
風呂自動運転時間を変更する・・・33

メニューの設定

メニューを設定する・・・34
チャイムの種類を選ぶ・・・35
ナビゲーションの内容を選ぶ・・・36
ナビゲーションの音量を調節する・・・37
リモコンの会話音量を調節する・・・38
給湯量NaViを表示させない・・・39
設定値を工場出荷に戻す・・・39

お手入れ・点検

お手入れする・・・40
・風呂循環配管の洗浄・ストレーナーの掃除
・タンク内の掃除・循環金具の掃除
・リモコンの掃除・断水・水道工事があるとき
・長期間使わないときは
点検する・・・42
・漏電しゃ断器の動作確認・逃し弁の動作確認
・水漏れの点検・凍結防止の確認
・定期点検（有料）

こんなときは

凍結を防ぐために・・・44
一時的に使わないとき（沸き上げ停止）・・・45
長期間使わないとき・・・46
非常時にタンクの湯（水）を使う・・・48
お湯の使用量を再学習させる・・・49
電力料金契約に合わせる・・・50

困ったとき　他

こんな表示が出たときは・・・51
連絡先電話番号について・・・52
故障かな？と思ったとき・・・54
５年保証に関する免責事項について・・・57
〈一般地向け〉システム・ユニット形名対照表、仕様表・・・58
〈寒冷地向け〉システム・ユニット形名対照表、仕様表・・・59
保証とアフターサービス・・・60

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産の損害を防ぐために、お守りいただくことを説明しています。
「表示の説明」は、誤った取り扱いをしたときに生じる危害、損害の程度の区分を説明しています。
「図記号の説明」は図記号の意味を示しています。

表示の説明

表示	説明
	「死亡または重傷を負う可能性がある内容」を示します。
	「軽傷を負うことや、家屋・家財などの損害が発生する可能性がある内容」を示します。

図記号の説明

図記号	説明
	中の絵と近くの文で、してはいけないこと（禁止）を示します。
	中の絵と近くの文で、しなければならないこと（指示）を示します。
	中の絵と近くの文で、注意を促す内容を示します。

⚠警告

禁止

業務用に使用しない
- 事故・故障の原因になります。

分解禁止

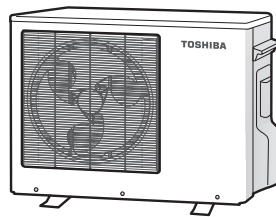
分解・改造・修理をしない
- 火災・感電・けがの原因になります。
- 修理は販売店にご依頼ください。

据え付け場所について

禁止

塩害地には設置しない（塩害地向け製品を除く）
- 故障のおそれがあります。
- 故障したときは保証期間中でも有料修理になります。

《塩害地とは》
- 海浜地区で潮風が直接当る場所
- 海岸より約500m～約1km以内の地域

温泉地などの特殊な場所には設置しない
- 有害なガスで故障するおそれがあります。
- 故障したときは保証期間中でも有料修理になります。

据え付けについて

禁止

機器の近くにガス類や引火物を置かない
- 発火の原因になります。

ヒートポンプユニットは屋内に設置しない
- 万一、冷媒(CO_2)が漏れると、酸欠により死亡または重傷事故（脳機能障害等）に至ることがあります。

指示

据え付け・配管・電気工事は、お買い上げの販売店または工事店に依頼する
- 火災・感電・水漏れの原因になります。

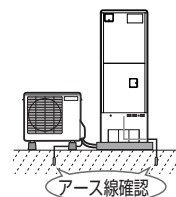
循環金具・アース棒など、別売部品も指定部品を使用する
- 事故・故障の原因になります。

⚠警告

据え付け後の確認事項

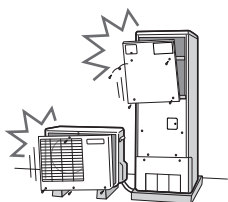
アースを接続する

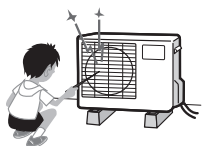
アース工事がされていることを確認する

- 故障や漏電のときに感電の原因になります。
- 販売店または工事店にご確認ください。

機器の扱いについて

禁止

貯湯タンクユニット・ヒートポンプユニットの前面カバーは開けない

- 感電の原因になります。

ヒートポンプユニットの空気吸込口・吹出口に棒や手を入れない

- 内部でファンが回転しているので、けがをすることがあります。

貯湯タンクユニットの排水栓を開けるときは、熱湯に注意する

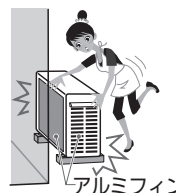
- やけどをすることがあります。

接触禁止

ヒートポンプ配管・接続口およびファンには触れない

- やけどをすることがあります。

ヒートポンプユニットのアルミのフィンには触れない

- けがをすることがあります。

指示

貯湯タンクユニットが満水になっていることを確認してから通電する

- 満水にしないで通電すると負圧によってタンクが破損し、やけどや水漏れの原因になります。

指示

機器を操作する場合は手袋をする

- けがをすることがあります。

お湯を使うとき

禁止

給湯栓を開けるときは、湯温に注意する

- やけどの原因になります。
- 給湯栓を開けた直後は水が出ますが、すぐに熱湯に変わることがあります。
- シャワーからは熱湯が出ることがあります。湯温を十分確認してください。

浴槽にお湯がないときに「あつく」ボタンを押さない

- 熱い湯が出てやけどをすることがあります。

禁止

循環金具のフィルターがゆるんだり、はずしたりしたままで使わない

- 髪の毛が吸い込まれるなど、思わぬ事故の原因になります。

接触禁止

給湯時は給湯栓本体に触れない

- やけどをすることがあります。
- 朝、最初に給湯栓を開けるときに蒸気が出ることがあります。給湯栓は少しずつ開けてください。

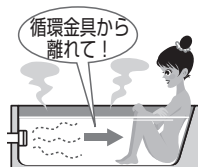
（つづく）

⚠警告

お湯を使うとき

指示

追いだき中や風呂自動運転のポンプ循環中は、循環金具から離れる

- 熱い湯が出てやけどをすることがあります。

指示

お湯を使うときは、お湯の温度を確認する

- やけどの原因になります。
- 入浴時やシャワー使用時は、指先などで湯温を確認してください。

子供の入浴には十分注意する

- もぐると髪の毛が循環金具の口から吸い込まれることや、循環金具から高温のお湯が出てやけどすることがあります。

異常時は

指示

異常・故障時はすぐに使用を中止する

- 火災・感電・故障・やけどのおそれがあります。
- 漏電しゃ断器を「切」にして、お買い上げの販売店または東芝電気給湯機ご相談センターへご連絡ください。

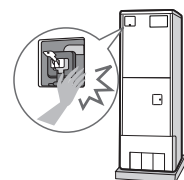
《異常・故障時の例》

- 漏電しゃ断器が自動的に「切」になる。
- お湯の出が悪かったり、早くなくなったりする。
- 逃し弁の逃し管から昼間、常にお湯が流れている。
- 設置場所が常にぬれている。
- 焦げくさいにおいや異常な音・振動がする。

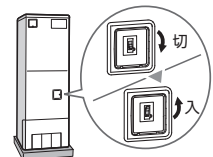
点検・お手入れのとき

接触禁止

逃し弁の点検時には、逃し弁レバー以外に触れない

- やけどの原因になります。

指示

漏電しゃ断器の動作を定期的(年に2〜3回)に確認する

- 故障したまま使うと、漏電したときに感電の原因になります。

ぬれ手禁止

漏電しゃ断器はぬれた手で操作しない

- 感電の原因になります。

⚠注意

使用する水について

指示

水は水道法に規定された水質基準に適合する水道水を使う

- 温泉水・地下水・井戸水は使用しないでください。故障・水漏れの原因になります。
- 塩分・石灰分・その他の不純物が多く含まれている水質や酸性水質の地域での使用は避けてください。

自家浄水システムの処理水を使わない

- 貯湯タンク内に菌が繁殖しやすくなります。

⚠注意

据え付け場所について

禁止

ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げになるものを置かない

• 性能低下や故障の原因になります。

据え付け時の確認

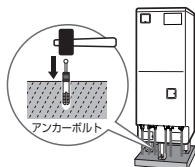
指示

据え付け時には次のことを確認する

●設置床面が防水処理・排水処理をされていること

• 水漏れして大きな被害の原因になります。

●貯湯タンクユニットは、脚をアンカーボルトで固定していること

• 地震発生時などに本体が倒れてけがをするおそれがあります。

●凍結防止対策をしていること

• 配管が破損して、やけどすることがあります。

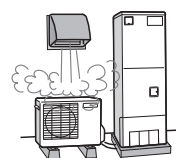
●機器や台所リモコンを浴室など湿気の多いところに取り付けていないこと

• 火災・感電の原因になります。

●ヒートポンプユニットは隣家に配慮した場所に設置していること

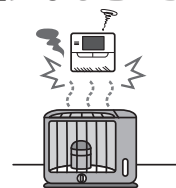
• 運転音や振動が伝わり、隣家に被害を与えることがあります。

●ヒートポンプユニットをキッチンの換気扇の近くに設置していないこと

• 油分の付着や排気によって、性能低下や故障の原因になります。

●貯湯タンクユニット、ヒートポンプユニット(一般地向け)のドレンホースが確実に配管されていること

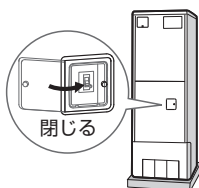
• 設置場所の周辺をぬらす原因になります。

●リモコンを直射日光の当たるところ、屋外や燃焼器具の上など高温になるところに取り付けていないこと

• 火災・変形・変色の原因になります。

機器の扱いについて

指示

貯湯タンクユニットの電源ボックスカバーは閉じておく

• 感電・ショートの原因になります。
• 点検・操作の後はねじを締めてください。

積雪時には除雪する

• 誤動作や故障の原因になります。

禁止

機器の上に乗ったり、配管に力を加えない

• 本体の転倒や配管の破損によるやけどなどの事故の原因になります。
• 特に、お子様には注意してください。

凍結のおそれがあるときは、電源を切らない

• 凍結した配管などが破損し水漏れの原因になります。

(つづく)

⚠注意

お湯を使うとき

禁止

そのまま飲用しない

- 長期間の使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わったりすることがあります。
- 飲用される場合は以下の点に注意し、必ず一度沸とうさせてからにしてください。
  - ・必ず水質基準に適合した水を使う。
  - ・熱いお湯が出てくるまでの水(配管内にたまっている水)は、雑用水として使う。
  - ・固形物や変色、にごり、異臭があった場合は、飲用に使わず、すぐに点検の依頼をする。

循環金具はふさがない

- 配管の故障や、やけどの原因になります。

禁止

銀アレルギーの人は入浴を避ける

- 銀イオン発生ユニットに使用している銀は極めてアレルギーになりにくい金属ですが、銀アレルギーの人は入浴を避けてください。
- 銀イオン機能は、停止することができます。

指示

混合水栓は水の方から開く

- お湯の方だけ開くと、高温のお湯が出たり、飛び散ったりしてやけどの原因になります。

点検・お手入れのとき

禁止

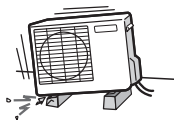
タンクの熱湯は直接排水しない

- やけどをすることがあります。
- お湯を使いきってから排水してください。排水管が熱で変形することがあります。

水洗いはしない

- 漏電による火災や感電の原因になります。

ヒートポンプユニットの据付台は傷んだ状態で使わない

- ヒートポンプユニットの落下、転倒やけがの原因になります。

お手入れ・点検の後は、漏電しゃ断器と逃し弁のふたを閉める

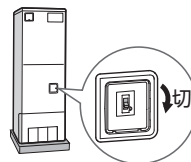
- ねじを確実に締めてください。
- 雨やゴミが入ると漏電や感電の原因になります。

指示

逃し弁が作動することを定期的に確認する

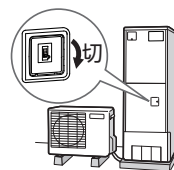
- タンクや配管が破損したり、逃し弁から水が漏れたりすることがあります。

1カ月以上使わないときは、漏電しゃ断器を「切」にして、タンクの排水をする

- 水質が変化します。

水漏れを点検する

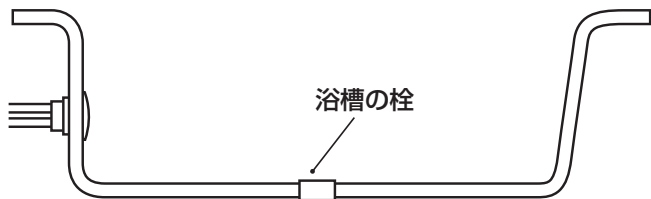
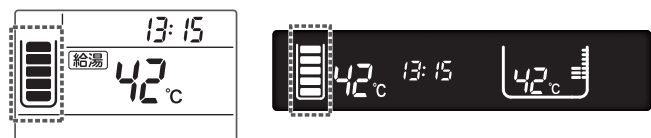
- 特に集合住宅では、漏水が階下へ被害を与えます。
- 日常点検してください。

お手入れ時・点検時は、漏電しゃ断器を「切」にする

- ヒートポンプユニットのファンが高速回転しているため、けがの原因になります。

凍結防止対策を確認する

- 配管が破損してやけどをすることがあります。

お願い

●**湯はりするときは、浴槽に栓をしてください。**
湯はりができません。

●**湯はりをするときは、貯湯量表示が３つ以上あることを確認してください。**
湯切れし、湯はりができなくなることがあります。

●**次の入浴剤は使わないでください。**
- **イオウを含んだもの**
- **浴槽に沈殿物(にごり成分)が残るもの**
- **ミルクやミルク成分が入っているもの**
- **生薬(固形のもの)**

機器が腐食したり故障したりする原因になります。

●**浴槽内で石けんを使わないでください。**
機器が腐食したり故障したりする原因になります。

●**入浴後は浴槽にふたをしてください。**
浴槽には冷めやすいものもあります。

●**入浴は夜間通電時間前(23時前)にすませるようにしてください。**
夜間通電時間(23～7時)を利用してお湯を沸き上げ、貯めるため、夜間にお湯をたくさん使うと、翌日に湯量が不足します。

●**浴槽の栓を抜く前に、「風呂自動運転」を停止してください。(25ページ)**
エラー表示が出ます。

●**酸、アルカリを含んだ洗剤は使わないでください。**

●**浴槽配管の洗浄については「お手入れする」(40ページ) お願い を参照してください。**

お知らせ

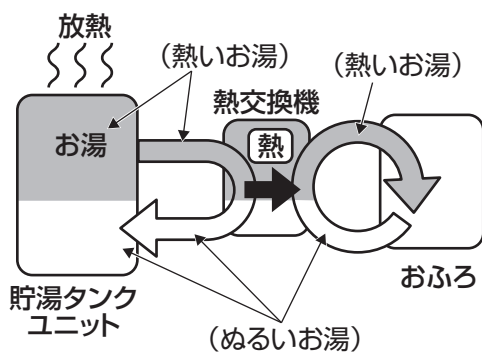
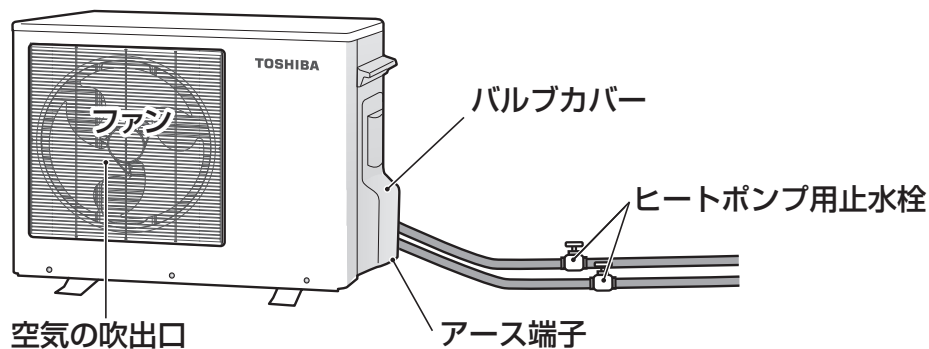
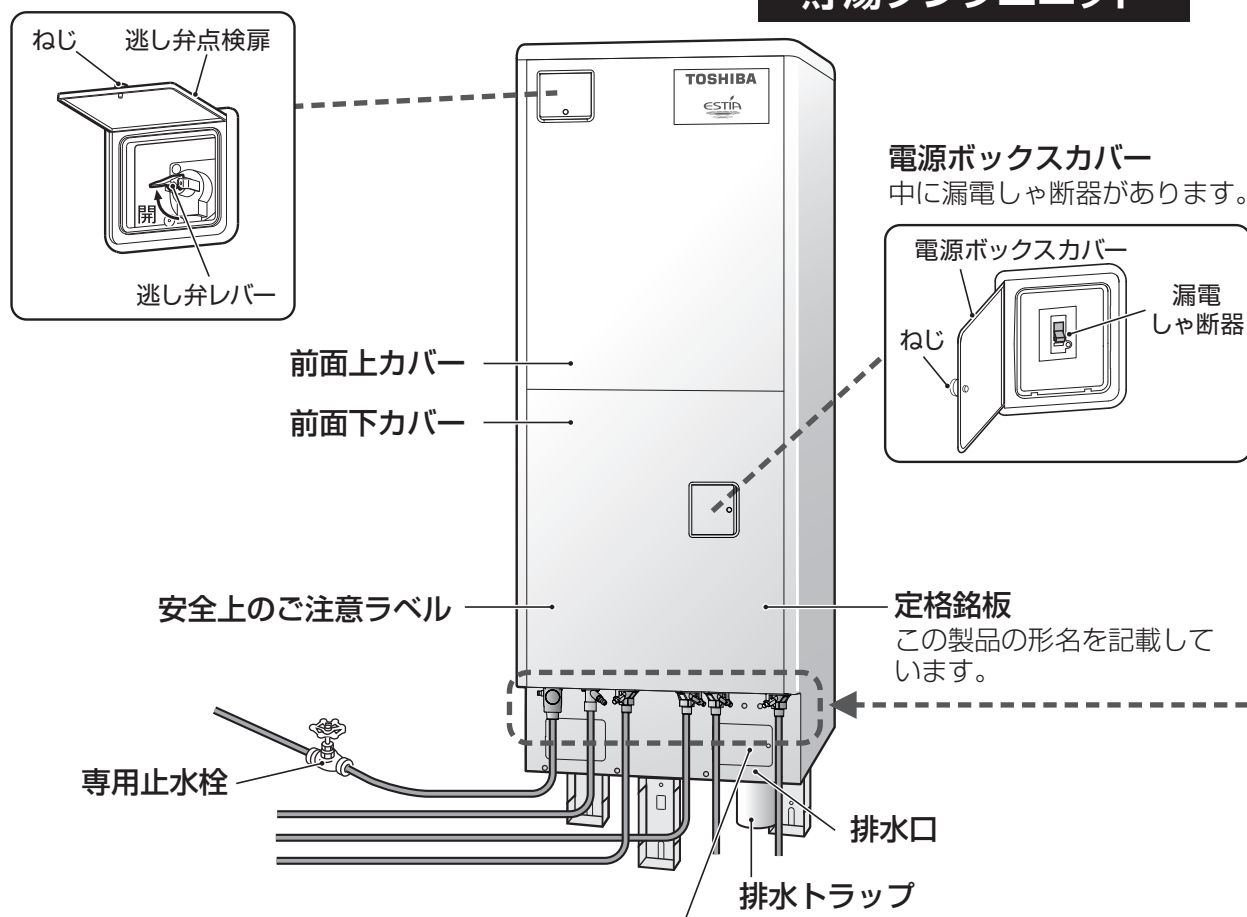
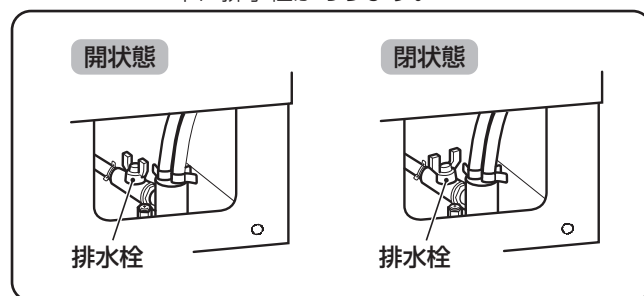
●**湯はりや給湯のほか、次の場合もタンクの湯温が下がり、貯湯量が減ります**

追いだき(30ページ)、保温(25ページ)したとき
追いだきや保温をするときは、浴槽のお湯を循環させて温めます。温めるための熱は、タンクのお湯の熱を使います。

タンク内のお湯の放熱によって
タンクに貯められたお湯は放熱によって徐々に温度が下がるため、お湯を使わなくても貯湯量が減ることがあります。

追いだき・保温時のお湯の使われ方

●**浴槽やタイルの目地の青い付着物について**

使用地域の水質や給湯機の銅配管により薄青くなることがあります。
これは、水中に含まれる銅イオンと石けんなどに含まれる脂肪酸とが反応してできるもので、毒性や健康への害は全くありません。
通水(通湯)の繰り返しで発生しにくくなりますが、市販の台所の油汚れ専用洗剤をスポンジにつけてこすれば取り除けます。
油汚れ専用洗剤：速効湯アカ分解(株式会社リンレイ)
　　　　　　　　マジックリン(花王株式会社)

各部のなまえとはたらき

お願い

● 貯湯タンクユニットに「安全上のご注意ラベル」が貼られています。お読みいただきお守りください。

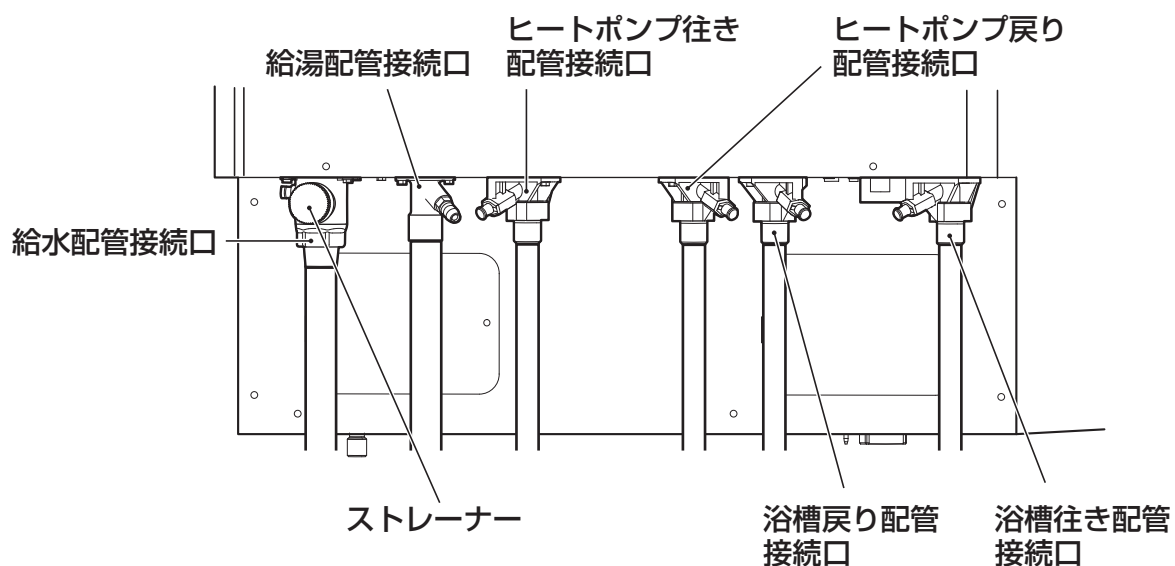
この取扱説明書では、操作手順およびリモコンの表示を次のように表わしています。

■浴槽について

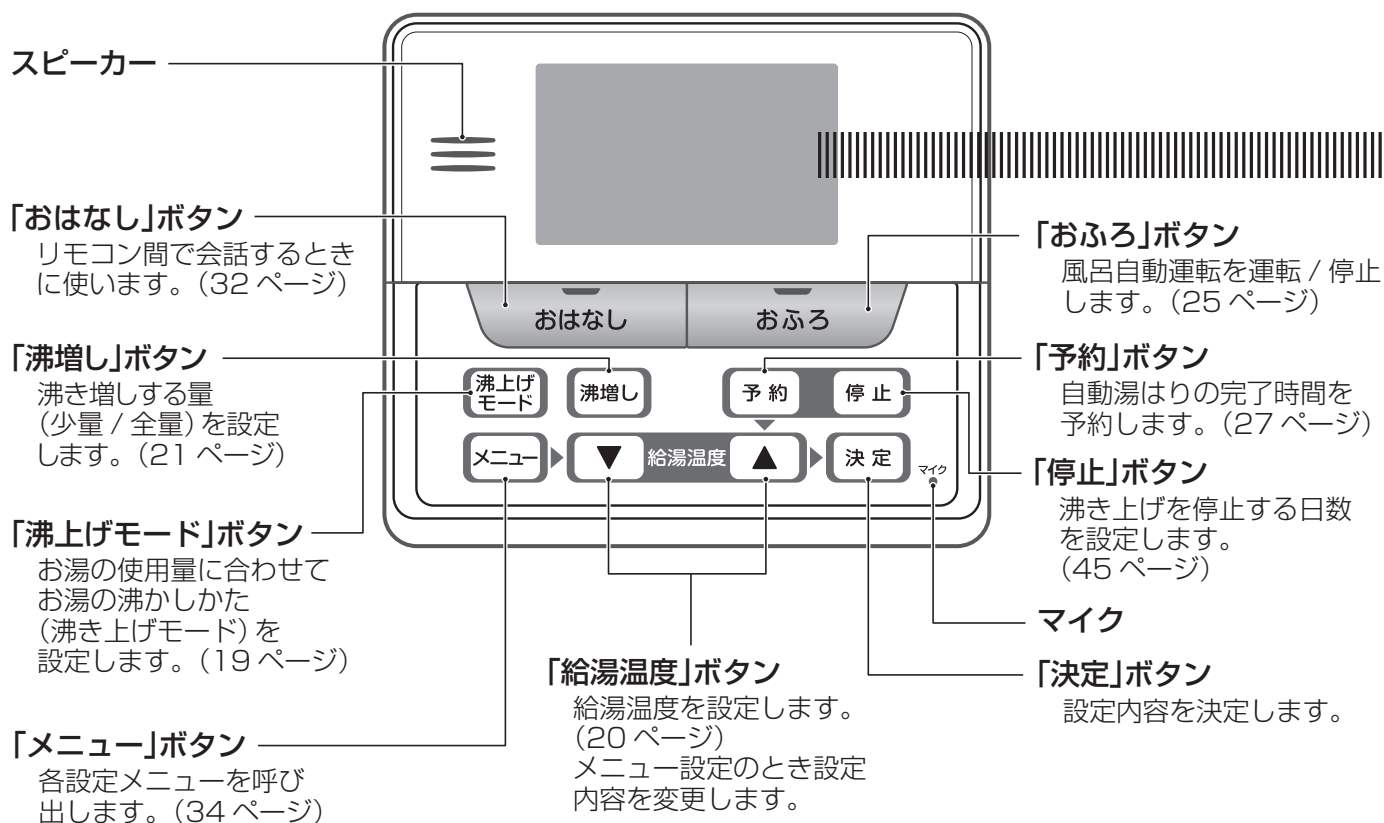
● **ジェットバス・ジャグジーは、使わないでください。**
水位が検知できないため、正常に運転ができません。

■水栓について

- ●湯水混合水栓のご使用をおすすめします。
- ●特に浴室では、サーモ式混合水栓などのご使用をおすすめします。
- ●また、混合水栓は、逆止弁付きをお使いください。

（つづく）

台所（メイン）リモコン（HWH-RM81F）

操作部

●イラストはふたが開いた状態です。

スピーカー

「おはなし」ボタン
リモコン間で会話するときに使います。（32 ページ）

「沸増し」ボタン
沸き増しする量（少量 / 全量）を設定します。（21 ページ）

「沸上げモード」ボタン
お湯の使用量に合わせてお湯の沸かしかた（沸き上げモード）を設定します。（19 ページ）

「メニュー」ボタン
各設定メニューを呼び出します。（34 ページ）

「給湯温度」ボタン
給湯温度を設定します。（20 ページ）
メニュー設定のとき設定内容を変更します。

「おふろ」ボタン
風呂自動運転を運転 / 停止します。（25 ページ）

「予約」ボタン
自動湯はりの完了時間を予約します。（27 ページ）

「停止」ボタン
沸き上げを停止する日数を設定します。（45 ページ）

マイク

「決定」ボタン
設定内容を決定します。

おはなし　おふろ　沸上げモード　沸増し　予 約　停 止　メニュー　▼ 給湯温度 ▲　決 定　マイク

リモコンボタン操作のロック —— いたずら防止

▼ 給湯温度 ▲ の「▼」と「▲」を同時に約２秒間押す

●表示部にロック表示（カギマーク）が点灯します。

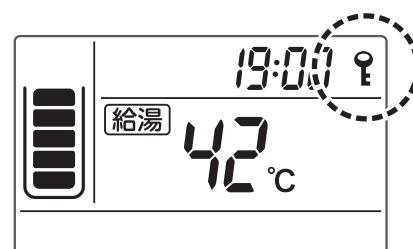
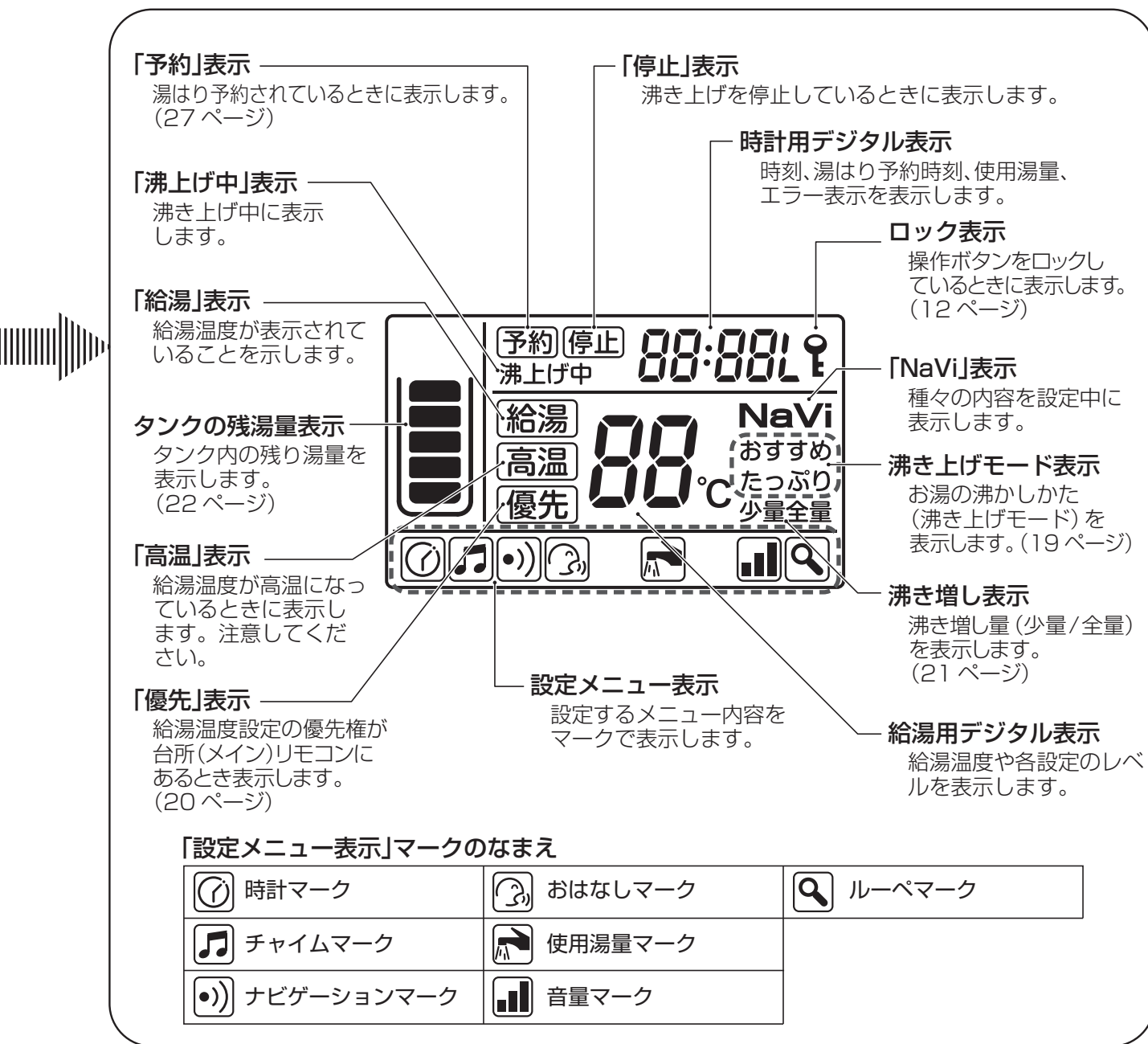
ロックを解除するときは

もう一度 ▼ 給湯温度 ▲ の「▼」と「▲」を同時に約２秒間押す

表示部

●説明のため、全てを表示しています。

「設定メニュー表示」マークのなまえ

時計マーク	おはなしマーク	ルーペマーク
チャイムマーク	使用湯量マーク	
ナビゲーションマーク	音量マーク	

台所(メイン)リモコン表示部の照明(バックライト)の点灯時間は、ボタンを押してから約10秒間です。

お願い

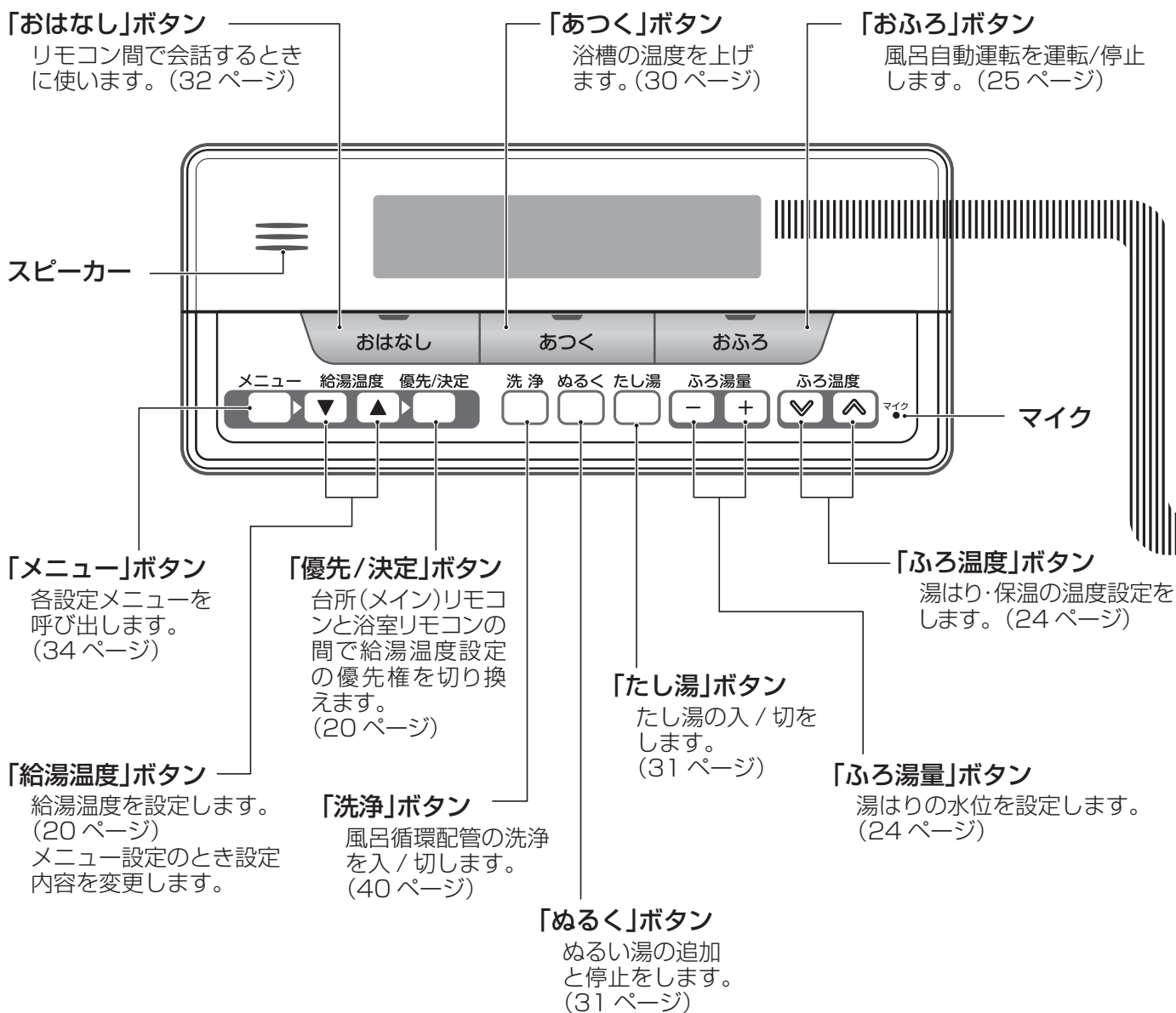
● メニュー設定中、ボタン操作が10秒間行われないと、自動で通常表示に戻ります。
● 台所(メイン)リモコンは防水タイプではありませんので、水をかけないでください。故障します。

(つづく)

浴室リモコン（HWH-RB81F）

**浴室リモコンの操作説明ページでは、表示部が点灯した状態での説明となっています。
表示部が消灯しているときは、ボタンのいずれか（「おはなし」ボタンを除く）を押して、表示部を点灯させてから操作してください。**

操作部

●イラストはふたが開いた状態です。

「おはなし」ボタン
リモコン間で会話するときに使います。(32 ページ)

「あつく」ボタン
浴槽の温度を上げます。(30 ページ)

「おふろ」ボタン
風呂自動運転を運転/停止します。(25 ページ)

スピーカー

マイク

「メニュー」ボタン
各設定メニューを呼び出します。
(34 ページ)

「優先/決定」ボタン
台所(メイン)リモコンと浴室リモコンの間で給湯温度設定の優先権を切り換えます。
(20 ページ)

「ふろ温度」ボタン
湯はり･保温の温度設定をします。(24 ページ)

「たし湯」ボタン
たし湯の入 / 切をします。
(31 ページ)

「給湯温度」ボタン
給湯温度を設定します。
(20 ページ)
メニュー設定のとき設定内容を変更します。

「洗浄」ボタン
風呂循環配管の洗浄を入 / 切します。
(40 ページ)

「ふろ湯量」ボタン
湯はりの水位を設定します。
(24 ページ)

「ぬるく」ボタン
ぬるい湯の追加と停止をします。
(31 ページ)

リモコンボタン操作のロック ―― いたずら防止

給湯温度 ▼ ▲ の「▼」と「▲」を同時に約２秒間押す

●表示部にロック表示(カギマーク)が点灯します。

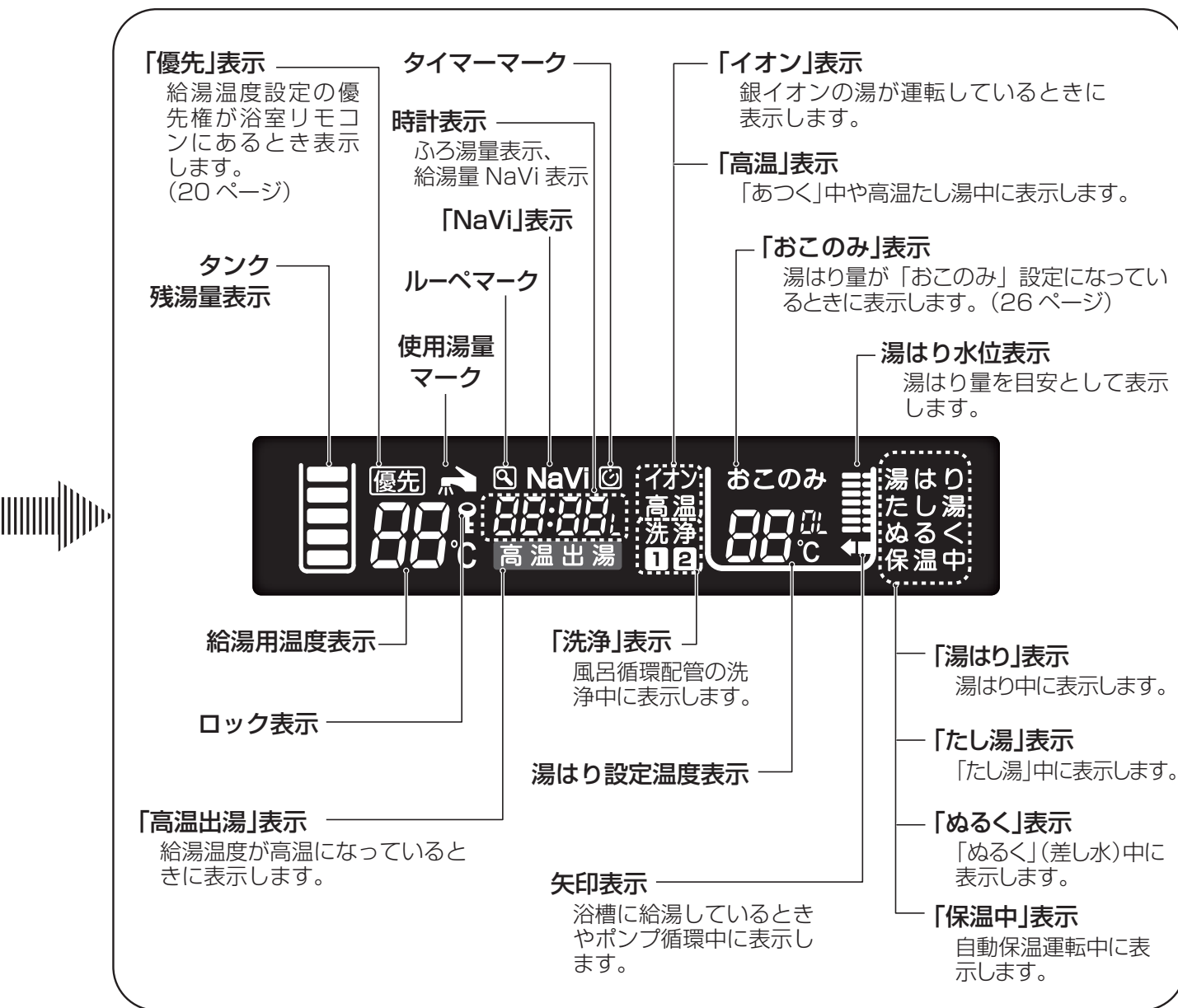
ロックを解除するときは

もう一度 給湯温度 ▼ ▲ の「▼」と「▲」を同時に約２秒間押す

浴室リモコンは、省エネのため 5 分間操作しないと自動的に表示が消灯します。
●給湯温度が 50℃、60℃に設定されているときは、消灯しません。(20 ページ)
ボタンのいずれか (「おはなし」ボタンを除く) を押すか、お湯を使うと点灯します。

表示部

●説明のため、全てを表示しています。

お願い

- メニュー設定中、ボタン操作が 10秒間行われないと、自動で通常表示に戻ります。
- 浴室リモコンは防水タイプですが、できるだけ水をかけないでください。故障の原因になります。

準備をする タンクに給水する

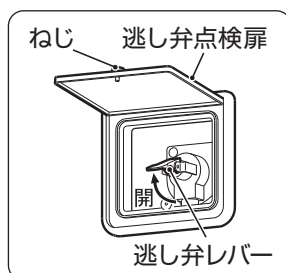
●初めてお使いになる前に、以下の内容が実施されているかを販売店または工事業者に確認してください。
実施されているときは時刻を合わせてください。（18ページ）
実施されていないときは、手順に従って準備をしてください。

タンクや配管内のゴミ・油などを洗い流すために、一度給水した後すべて排水し、再度給水します。

一度給水して排水する

1 逃し弁レバーを立てて、逃し弁を開く

●逃し弁レバーは逃し弁点検扉の中にあります。
（逃し弁を開けないと、給水が完了できません。）

ねじ　逃し弁点検扉　開　逃し弁レバー

2 専用止水栓を開く

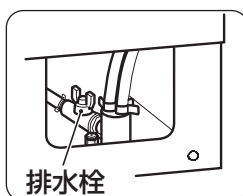
●約 20～40 分で排水トラップに水が出て、貯湯タンクユニットが満水になります。
（見えないときは、水の音で確認してください）

満水になったら

3 専用止水栓を閉じる

4 排水栓を開く

●約 40～60 分で水が出つくします。
（排水から始めるときは、逃し弁を開けてください。）

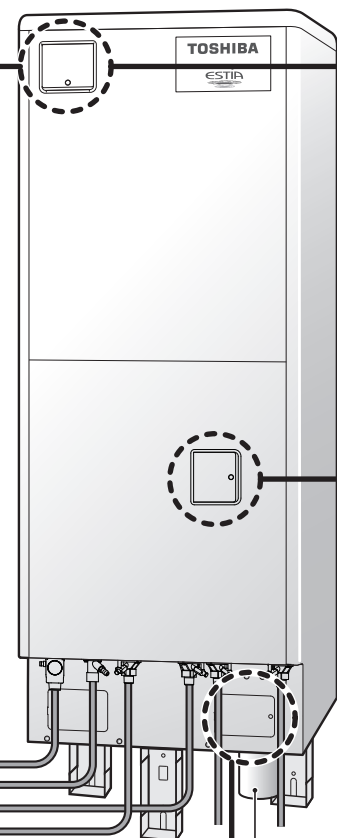
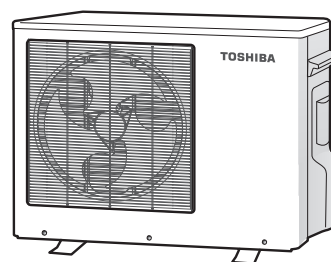
排水栓

全て排水が終わったら再度給水する

5 排水栓を閉じる

6 専用止水栓を開く

●約 20～40 分で排水トラップに水が出て、満水になります。
（見えないときは、水の音で確認してください）

開ける　専用止水栓

7 ヒートポンプ用止水栓が開いていることを確認する

貯湯タンクユニット
TOSHIBA
ESTIA
専用止水栓
排水トラップ
（排水口の下）

ヒートポンプユニット
TOSHIBA
ヒートポンプ用止水栓

⚠警告

貯湯タンクユニットが満水になっていることを確認してから通電する

指示

• 満水にしないで通電すると負圧によってタンクが破損し、やけどや水漏れの原因になります。

⚠注意

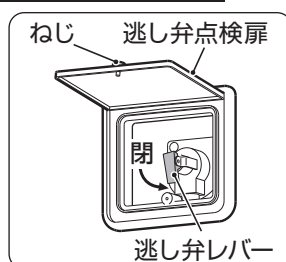
電源ボックスカバーと逃し弁点検扉を閉める

禁止

• ねじを確実に締めてください。
• 雨やごみが入ると漏電や感電の原因になります。

タンクが満水になったことを確認する

8 逃し弁レバーを戻し、逃し弁点検扉を閉じる

●逃し弁点検扉を閉じ、ねじを確実に締めます。

混合水栓から水が出ることを確認する

9 混合水栓の「お湯側」を開く

●右図を参考に、水が出ることを確認してください。

10 混合水栓の「お湯側」を閉じる

混合水栓のお湯側の開きかた

お湯の出し方は、混合水栓のタイプにより異なります。

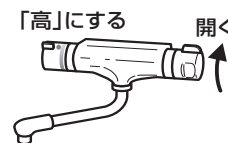
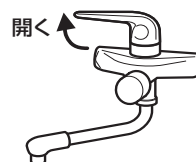
▌サーモスタットタイプ
湯温調節を「高」にして、給水栓を開く。

▌シングルレバータイプ
お湯側にレバーを回して開く。

▌2バルブタイプ
お湯側（給湯栓）だけを開く。

電源を入れる

11 漏電しゃ断器のレバーを「入」にする

●ポンプが約 3 分間運転します。
●電源ボックスカバーを閉じ、ねじを確実に締めてください。

時刻を合わせる（18 ページ）

最初は、時刻が設定されると、すぐにお湯を全量沸き上げるまで運転を続けます。
次からは、設定された時間（50ページ）にそって、翌朝までに沸き上げます。

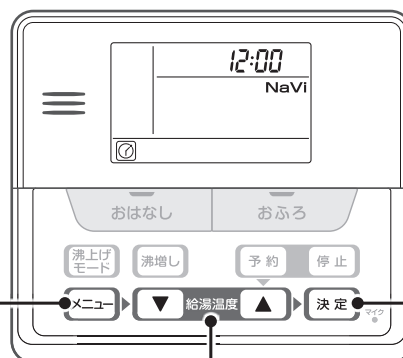
お知らせ

● 沸き上げが始まると、排水トラップに排水されます。これはお湯を沸かすときに膨張する水を逃すためのもので、異常ではありません。
● 370Lのタンクで全量沸き上げた場合、約11L排水されます。（昼間、沸かすときも同じように排水されます）
● 専用止水栓が見当たらない場合は、販売店または工事業者に確認してください。

時刻を合わせる

- お使いの前に、台所リモコンの時刻を正しく合わせてください。
- 時刻を設定しないと沸き上げ運転をしません。
- 月に一度くらい時刻を確かめて、間違っているときは正しく合わせてください。
  時刻が間違っていると運転時間がズレて、電気料金が割高になることがあります。

台所リモコン

- 時刻は24時間表示です。
- 設定中、ボタン操作が10秒間行われないと、通常の表示に戻ります。そのときは手順**1**からやり直してください。
- 設定した時刻は、浴室リモコンに自動的に反映されます。

(例)13時15分に設定する場合

1 時刻を合わせるメニューを呼び出す

- メニュー を押す ─ 「NaVi」表示が点灯、「PH」が点滅
- ▲ を1回押す ─ (時計マーク)を点滅させる
- 決定 を押す ─ 「時」の部分が点滅

2 「時」を合わせる

- ▼ 給湯温度 ▲ で調整
  - 「▲」で進み、「▼」で戻ります。
- 決定 を押す ─ 「時」の部分が点灯し、「分」の部分が点滅

3 「分」を合わせる(設定完了)

- ▼ 給湯温度 ▲ で調整
  - 「▲」で進み、「▼」で戻ります。
- 決定 を押す ─ 「分」の部分が点灯

4 表示部を元に戻す
(設定を途中でやめるとき)

- メニュー を押す
  - 表示部が通常の表示に戻ります。

お知らせ

- 2時間以上の停電があると時刻はリセットされます。
- 表示部が横棒で表示されている(−−)ときは、時刻設定がされていません。手順に従って設定してください。

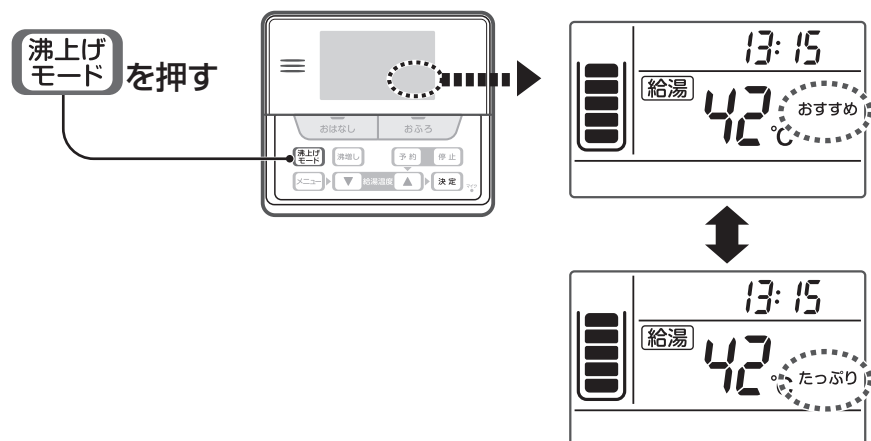
お湯の沸かしかたを設定する

沸き上げモード

- ご家庭のお湯の使用量に合わせて、お湯の沸かしかた(沸き上げモード)を選べます。
- 沸かしかたは、「おすすめ」モードと「たっぷり」モードの２通りがあります。最初は「おすすめ」モードでお使いになり、お湯が足らなくなることが多いときは、「たっぷり」モードに切り換えてください。(お買い上げ時は、「おすすめ」モードに設定されています)

モード	内容	特長
「おすすめ」モード	毎日使われるお湯の量を学習し、温度・必要な量を自動で決めて沸き上げます。	経済的なモードです。最初は「おすすめ」モードでお試しください。
「たっぷり」モード	学習したお湯の量を夜間電力で沸かし、必要に応じて昼間も沸き増しします。	「おすすめ」モードの約 1.2倍のお湯をつくります。

設定のしかた

台所リモコン

- 押すたびに沸き上げモード表示が「**おすすめ↔たっぷり**」と切り換わり、沸き上げモードがかわります。

お知らせ

- 冬場の水温が低いときや、沸き上げ中に停電があったときは、設定より低い温度に沸き上がります。
- 外気温が低いときは、沸き上げの運転音が大きくなることがあります。
- 沸き上げ温度は、ヒートポンプユニットから出る湯温を示します。タンク内に貯湯されると湯温は下がります。
- 沸き上げは、熱いお湯をタンク上部から貯めていきます。前日のお湯の残りはタンクの下にたまります。

お湯を使う 給湯温度を設定する

- 台所、洗面所、浴室などでお湯を使うときの操作です。
- 給湯するお湯の温度の設定は、台所リモコン・浴室リモコンのうち優先権のあるリモコンでできます。（お買い上げのときは、優先権は台所リモコンにあり、給湯温度は「42℃」に設定されています）

給湯温度設定の優先権について

表示部に「優先」表示が表示されているリモコンに、温度設定できる優先権があります。

優先権は、浴室リモコンの 優先/決定 を押すたびに切り換えられます。

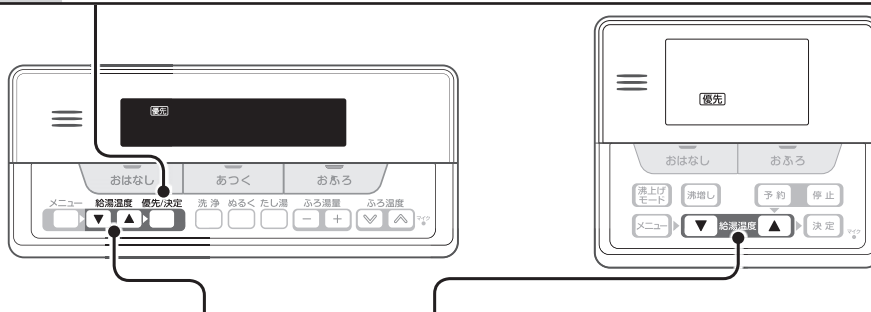
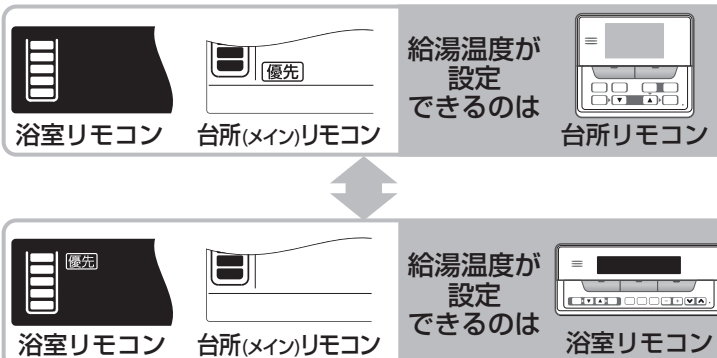
- お湯の使用中に優先権の切り換えはできません。

- 浴室でお湯を使うときは、浴室リモコンに「優先」表示が出ていることを確認してください。
- 優先権が台所リモコンにあるまま浴室でお湯を使うと、台所リモコンで給湯温度を変えられた場合、やけどなどの事故の原因になるおそれがあります。

1 優先するリモコンを決定する

浴室リモコン

優先/決定 を押す

- 押すたびに、給湯温度を設定したいリモコン側の表示部に「**優先**」表示が移動します。

2 「優先」表示が表示されたリモコン側で給湯温度を設定する

浴室リモコンは 給湯温度 ▼ ▲

台所リモコンは ▼ 給湯温度 ▲

- どちらのボタンも、「▲」を押すと1℃ずつ上がり、「▼」を押すと1℃ずつ下がります。
- 設定できる湯温は27 ～ 48℃（この間1℃ずつ）と50℃、60℃です。

50℃、60℃に設定するときは

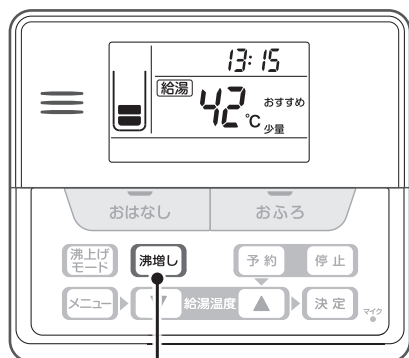
- 「48」まで押した後、1秒程度待ってから「▲」を2秒以上押すと「50」に変わり、さらに続けて押すと「60」に変わります。お湯の使用中は、50℃、60℃の設定はできません。
- 50℃、60℃に設定されている場合は、浴室リモコンを5分間操作しないときも、表示は自動的に消灯しません。

お知らせ

- 混合水栓の種類によっては、出湯するときに水が混ざり、設定した温度より低くなります。このようなときは、給湯温度の設定を高く（＋10℃）設定してください。（詳しくは、混合水栓の説明書をご確認ください）
- シャワーの出かたが弱い、混合水栓から出るお湯の量が少ないと感じるときは、給湯温度設定を60℃にして水と混ぜてお使いください。このときは、熱いお湯でやけどしないように十分気をつけてください。

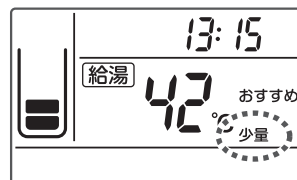
多めにお湯を沸かす 沸き増し

●いつもより多くお湯を使いそうなときには、あらかじめお湯を追加して沸かします。「沸き増し」は昼間の電気でお湯を沸かしますので、タンクの残湯量を目安に追加してください。

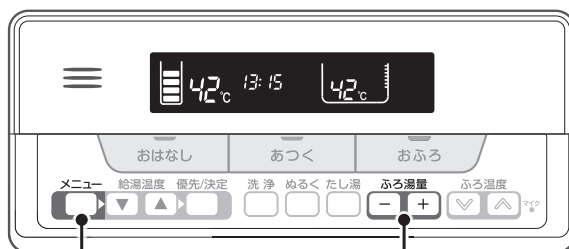
台所リモコン

沸き増し	内容
少量	●設定後、約40分沸き増しを行いその後自動解除します。 ●1回の沸き増しで、42℃のお湯が約70L(冬期)～約150L(夏期)使えます。 ●さらにお湯が必要なときは、再度「少量」を設定してください。
全量	●設定後、タンク内のお湯が4/5以下になると自動で運転を始め、全量まで沸き増しを行います。 ●夜間時間になると、沸き増しの途中でも自動解除します。 ●夜間時間以降の設定は、翌朝からの設定になります。

1 沸き増し湯量を設定する

沸増し を押す

●ボタンを押すたびに表示部の沸き増し表示が「少量→全量→(消灯)→少量…」と変わります。

浴室から少しお湯を沸かす

●お風呂に入っているときに、タンク残湯量が気になったら使います。約40分の沸き増しをします。

浴室リモコン

1 沸き増しを設定する

メニュー を押しながら ＋ を押す

一番上の目盛が点滅

42℃ 13:15

●目盛りの点滅位置はタンクの残湯量によって異なります。

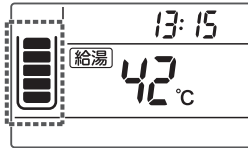
浴室からの沸き増しを解除するときは

メニュー を押しながら ＋ を押す

42℃ 13:15

いろんなお湯の量を見る

タンク残湯量

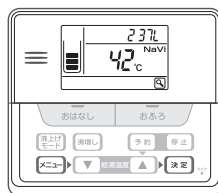
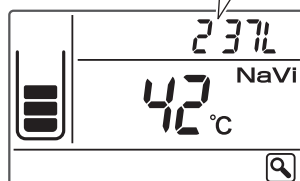
●タンク内のお湯の量を、リモコン表示部の残湯量表示で確認できます。

表示内容

表示						
残湯量	全量	4/5	3/5	2/5	1/5	1/5未満

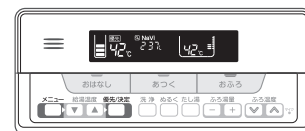
●お湯を使っていなくても、放熱で湯温が下がると目盛りが減ることがあります。
●「おすすめ」モード、「たっぷり」モードともに、沸き上げ中は全点灯しないことがあります。
●お湯の使用量が少ないときは、必要な量だけ沸き上げるため、残湯量表示が全点灯しないことがあります。
●沸き上げのモードを変えると、残湯量表示が変わることがあります。
●お湯を使うときの状況によって、いくつかの目盛りが同時に消えることがありますが、故障ではありません。

使えるお湯の量

●現在使えるお湯の量(給湯可能量)が目安で表示されます。

台所リモコン

※42℃のお湯が約237L使えることを表しています。

●約10秒間操作しないと、表示は元に戻ります

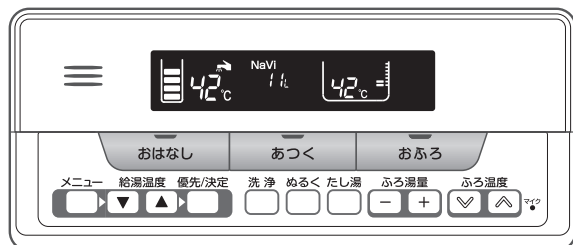
浴室リモコン

●約10秒間操作しないと、表示は元に戻ります

お知らせ

●給湯温度を変えると使えるお湯の量(給湯可能量)も変わります。残湯温度分布によっては、設定した湯温が出ない場合があります。
●給湯温度以外のボタン操作で、表示はもとに戻ります。
●湯はり、給湯全ての使用量を合計した湯量(目安)です。

出湯中のお湯の量（給湯量NaVi）

●出湯しているお湯の量が表示されます（1Lごと（42℃換算）に表示）。台所や洗面所での利用量も合算されます。

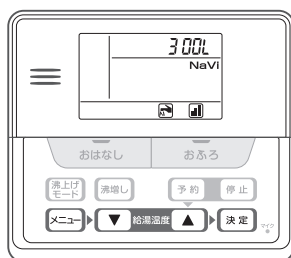
浴室リモコン

10L毎に『ピッ』と音でお知らせ

お知らせ

●給湯利用後約1分間表示されます。約5分以内にお湯を使うと給湯量NaViが再表示され使用量が積算されます。
●最大表示は「9999L」です。
●給湯量NaViの動作は停止することができます。（39ページ）

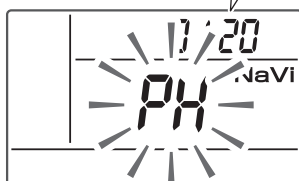
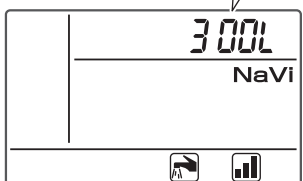
使ったお湯の合計

●深夜2:00から現在までのお湯の使用量を確認できます。

台所リモコン

1 使用したお湯の合計量を表示させるメニューを呼び出す

▼

2 表示部を元に戻す

を押す

▲ を6回押し

メニュー を押す

●表示部が通常の表示に戻ります。

お知らせ ●給湯湯量は使用したお湯の量を42℃に換算したものです。

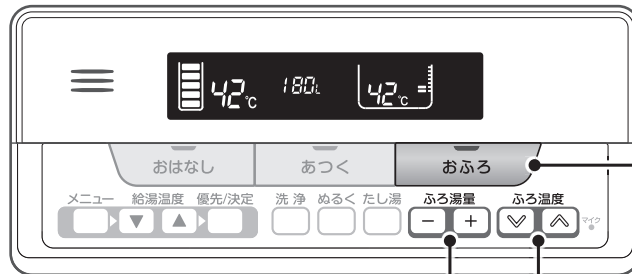
湯はりをする

●湯はりが完了するまでは、混合水栓やシャワーなどからお湯を足さないでください。
水位が正しく測れないため、お湯があふれるなどの不都合を生じます。

●湯はりをするときは、貯湯量表示が３つ以上あることを確認してください。
残湯量表示が少ないと、湯はりが完了しないことがあります。

浴室リモコン

1 準備する

浴槽に残り湯がないことを確認し、浴槽に栓をする

※「給湯量NaVi」表示中は、どれかのボタンで、現在時刻を表示させてから、操作してください。

※表示部が消灯中はボタンを押して、現在時刻を表示させてから操作してください。

2 湯はり量と湯はり温度を決める

※前日と同じ設定で湯はりをする場合は、手順2の操作は不要です。

で調節

●「－」「＋」で100～400Lの間を20L刻みに設定できます。

●設定できる湯はり量と湯はり水位表示目盛との関係は次のようになります。

目盛	湯はり量 (L)
7	280～400
6	260
5	240
4	220
3	200
2	180
1	100～160

●設定の目安は、1.25 坪ユニットバスで 180L がおすすめです。

ふろ温度 で調節

●浴槽のお湯の温度を、32～48℃の間を 1℃刻みに設定できます。

● (∧) で上がり、(∨) で下がります。
（お買い上げ時の設定は 42℃です）

※前日と同じ設定で湯はりをする場合は、この操作は不要です。

※通常の湯はり水位は、循環金具より5cm以上になるように設定してください。

※循環金具より5cm以上にならない量で湯はりしたい場合は、「風呂自動運転時間を変更する」（33ページ）の「A0h」に設定してください。

お知らせ

●風呂温度の設定は、風呂の湯はり終了時の浴槽内の温度ではありません。浴槽内の温度は季節や配管の温度状態によって異なります。リモコンの設定温度は目安としてお使いください。

●５分以上の停電があると、風呂自動運転は停止します。

●湯はり中に風呂温度を変更しても設定した温度にならないことがあります。「おふろ」ボタンを押したときの温度を優先して湯はりします。

3 湯はりする（開始）

おふろ を押す

●「おふろ」ボタンのランプが点灯します。

「矢印」表示が点滅「湯はり」表示が点灯

音声ナビゲーションについては36ページを参照

音声ナビ

「湯はりを開始します」
「排水栓を閉めてください」
フルナビ ナビ1

湯はりを終了すると

音声ナビ

「♪チャイム♪」
「湯はりを終了します」

湯はりを途中で解除すると

音声ナビ

「湯はりを解除しました」

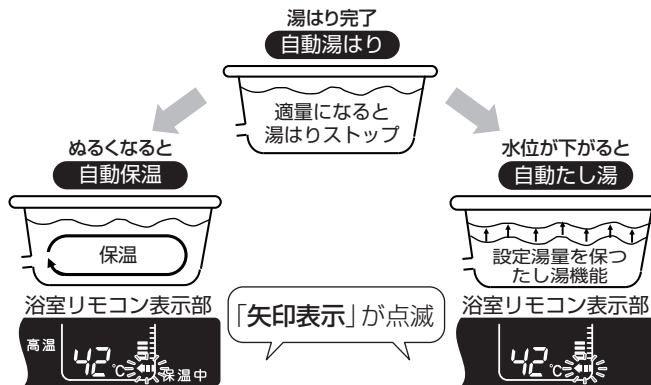
風呂自動運転を開始

●湯はりが終わったら風呂自動運転を始めます。
●自動保温·自動たし湯で、設定温度·湯量を保ちます。

湯はり完了
自動湯はり
適量になると湯はりストップ

ぬるくなると
自動保温
保温
浴室リモコン表示部

「矢印表示」が点滅

水位が下がると
自動たし湯
設定湯量を保つたし湯機能
浴室リモコン表示部

風呂自動運転の運転時間は

●お買い上げ時の設定は、湯はりから約2時間です。
●風呂自動運転時間は変更できます。(33ページ)

風呂自動運転が終わると

●「おふろ」ボタンのランプが消灯します。

途中で止めるときは

おふろ を押す

●「**おふろ**」ボタンのランプが消灯します。

風呂自動運転を停止するとき

おふろ を押す

●「**おふろ**」ボタンのランプが消灯します。

お願い

● 入浴時は浴槽の湯温を確認してください。適温で湯はりしていますが、故障などで高温になっていることがあります。
● 浴槽の栓を抜く前に、風呂自動運転を停止させてください。運転中のまま抜くと、エラーが発生します。
● 沸き上げが「おすすめ」モードのとき、浴槽に残り湯（ぬるい湯）があると湯はりを途中で止めます（エラーU：23）エラーを解除し（51ページ）、浴槽の湯を全部抜いてから、再度湯はりをしてください。
● 残り湯が循環金具より上まであるときは「おふろ」ボタンを押して温め直しができますが、下にあるときはお湯があふれることがあります。お湯を全て抜くか、循環金具の上まで水を足してから「おふろ」ボタンを押してください。

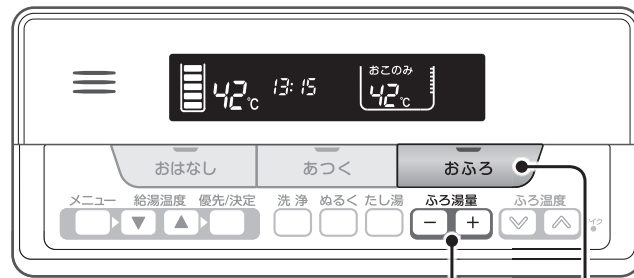
湯はり量を自由に決める（おこのみモード）

●湯はりの量をお好きな量に変更設定できます。
●「おこのみモード」は、お好きな水位がそのまま設定できますので、大きな浴槽や何リットル入るかわからない浴槽などにお使いください。ただし、湯はりが120分を超える場合や、お湯が無くなった場合は設定できません。
●湯はりが完了するまでは、混合水栓やシャワーなどからお湯を足さないでください。水位が正しく測れないため、お湯があふれるなどの不都合を生じます。

浴室リモコン

●一度設定すれば、解除するか停電などで初期設定に戻るまで、設定した水位で湯はりします。
●大きな浴槽に「おこのみ」設定をする場合は、「全量」沸き増しなどで残湯量を確保してください。

1 準備する

浴槽に残り湯がないことを確認し、浴槽に栓をする

※「給湯量NaVi」表示中は、どれかのボタンで、現在時刻を表示させてから、操作してください。

※表示部が消灯中はボタンを押して、現在時刻を表示させてから操作してください。

2 おこのみを表示させる

 を400Lが表示されるまで押す

一番上の目盛まで点灯

＋ を2秒以上押す

目盛が消え、「**おこのみ**」表示が点灯

3 湯はりを開始させる

●「おふろ」ボタンを押さないまま10秒過ぎると、「おこのみモード」を自動解除します。

おふろ を押す

●「おふろ」ボタンのランプが点滅します。

湯はりが始まり
おこのみの水位になったら

おふろ を押す

●ランプが点灯し、湯はりが止まります。

「おふろ」ボタンを押さないと、お湯は出続けます。

「おこのみモード」を解除するときは

－ を2秒以上押す

●表示部の「おこのみ」表示が消灯し、「湯はり水位表示」は2目盛が表示されます。

風呂自動運転中は「おこのみモード」を解除できません。

お知らせ

●湯はりを行っているときは、「おこのみモード」の解除はできません。

お願い

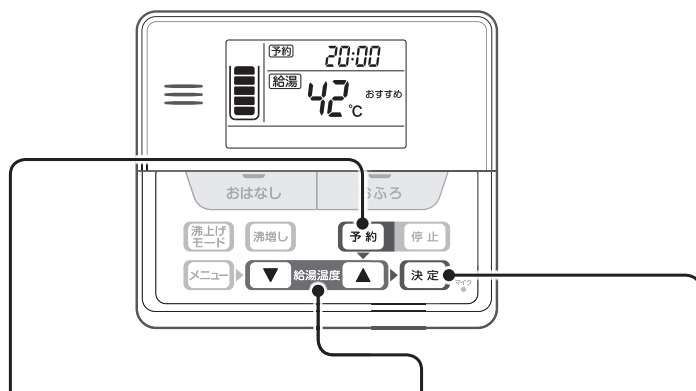
●湯はりは循環金具の5cm以上上方まで行ってください。
●「おこのみモード」で湯はりするときは、お湯をたくさん使うことがあります。残湯が全量残っているときに行ってください。

湯はりを予約する

●湯はり予約を設定すると、予約時刻に自動で湯はりが終わります。
●予約設定をする前に、時刻が正しく合っているか確認してください。
●湯はり予約は、一日限りの設定です。毎回、設定をしてください。
●一度予約設定すると、設定時刻は記憶されます。同じ時刻に予約するときは、時刻の設定は不要です。

台所リモコン

1 準備する

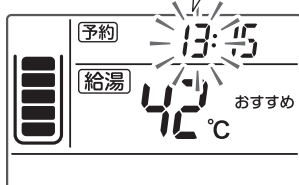
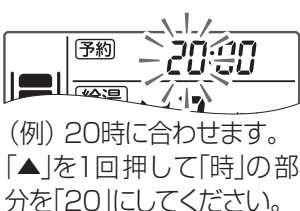
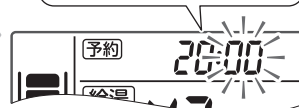
排水栓を閉め、
浴槽にふたをする

2 「時」を合わせる

予約 を押す

「予約」表示が点灯し、
「時」の部分が点滅

▼ 給湯温度 ▲ で調節

●「▲」で進み、「▼」で戻ります。

（例）20時に合わせます。
「▲」を1回押して「時」の部分を「20」にしてください。

決定 を押す

「時」の部分が点灯し、
「分」の部分が点滅

3 「分」を合わせる

▼ 給湯温度 ▲ で調節

●「▲」で進み、「▼」で戻ります。（10分単位）

決定 を押す

●表示部の「分」の部分が点灯し、10秒後に現在時刻に切り換わります。

音声ナビ
「湯はり予約を設定しました」
「排水栓を閉めてください」
フルナビ ナビ1

音声ナビゲーションについては36ページを参照

すでに設定された時刻で湯はり予約をする場合は

予約 を2秒以上押す

湯はり予約を解除するときは

予約 を2秒以上押す

●表示部は、「予約」表示が消え、湯はり予約が解除されます。

音声ナビ 「湯はり予約を解除しました」 フルナビ ナビ1

お知らせ

●湯はり予約は湯はりが始まった時点で解除されます。
●湯はり予約中に「おふろ」ボタンを押すと、湯はり予約は解除され、そのまま自動湯はりを行います。
●２時間以上の停電があると、予約は解除されます。

お願い

●予約設定は予約時刻の１時間以上前にしてください。１時間以内の設定は、予約時刻に湯はりが終わりません。

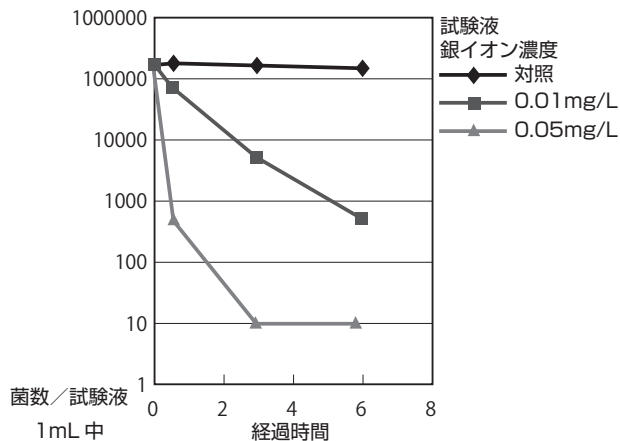
銀イオンの湯について

●『銀イオンの湯』は、湯はりの時に自動で運転されますので、お客様の操作はいりません。
●『銀イオンの湯』は、湯はり、たし湯(風呂自動運転によるたし湯と高温たし湯を除く)で運転されます。

銀イオンの特長

『銀イオンの湯』は、除菌・防臭効果があります。

●2番目以降に入浴される方にもきれいなお湯を楽しんでいただけます。
●翌日の洗濯など生活用水に利用するときにも、ぬめりやにごり、においが気になりません。(個人差はあります)

銀イオンによる菌の抑制

● **試験機関**:㈶北里環境科学センター
● **試験方法**:菌15万個を含んだ試験液1mLに銀イオンを付加した場合と付加しなかった(対照)場合で、試験液中の菌数を測定
● **試験結果**:報告書番号　北生発　21_0163_2上記試験において、銀イオン濃度0.01mg/Lで、6時間後に菌を99.0%以上抑制
銀イオン濃度0.05mg/Lで、30分後に菌を99.0%以上抑制

浴槽の黒ずみについて

●除菌・防臭に効果を発揮する『銀イオンの湯』ですが、水質や浴槽の材質によって浴槽に銀イオン由来の黒ずみ(「酸化銀」や「塩化銀」など)が発生する場合があります。
●銀は食品添加物としても認可されており、人体への影響は報告されていません

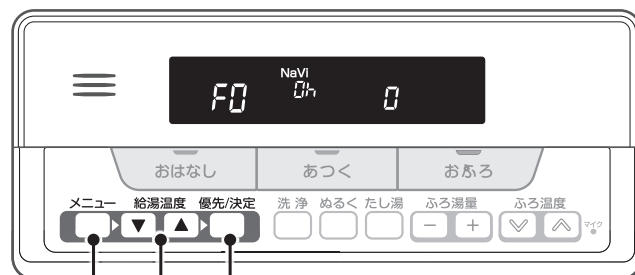
黒ずみの落とし方

銀イオンの交換時期

●銀イオンは消耗品です。（保証対象外です）
●銀イオンが残り少なくなると、湯はりなどの運転時に「イオン」表示が点滅します。
●銀イオンの交換時期の目安は、約５年（225時間）です。
（毎日１回180Lの湯はりをすることを想定）
●湯はりなどの運転をしていないときに「イオン」表示が点滅している時は、お近くのサービスセンターへ交換（有料）をご依頼ください。

銀イオン機能の止め方

● お客様のご希望により、『銀イオンの湯』機能を止めることができます。

浴室リモコン

※「給湯量NaVi」表示中は、どれかのボタンで、現在時刻を表示させてから、操作してください。

1 メニューから銀イオン運転設定を呼び出す

メニュー を押す
●「0120」はお買い上げ時の設定値です。

▼ を2回押す
●「1」はお買い上げ時の設定値です。

優先/決定 を押す
●「F0」が点灯し、「1」が点滅します。

2 銀イオンを止める

給湯温度 ▼ ▲ で選択
●「▲」で進み、「▼」で戻ります。
●「0」銀イオンなし
「1」銀イオンあり

優先/決定 を押す

3 表示部を元に戻す

メニュー を押す

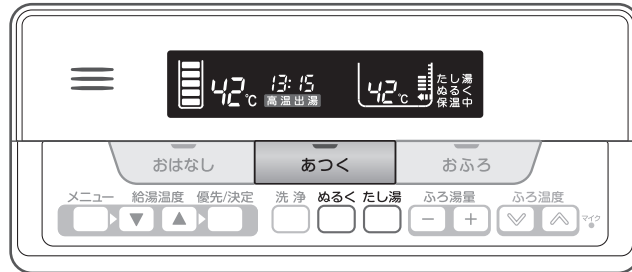
お知らせ

● 設定中、ボタン操作が10秒間行われないと、自動で通常表示に戻ります。そのときは手順１からやり直してください。

湯かげんを調節する

- 浴槽のお湯に追いだきやたし湯をしたり、お湯をぬるくしたりすることできます。
- 追いだき・たし湯はタンクの熱を使うため、タンク内の湯温が下がり、残湯量が減ったり湯切れしたりするおそれがあります。
- 残り湯を追いだきするよりも、毎日湯はりして新しいお湯を利用されることをおすすめします。

浴室リモコン

※表示部が消灯中はボタンを押して、現在時刻を表示させてから操作してください。

※「給湯量NaVi」表示中は、どれかのボタンで、現在時刻を表示させてから、操作してください。

音声ナビゲーションについては36ページを参照してください。

あつく（高温たし湯）

- あつめのお湯を浴槽にたします。

1 高温たし湯であつくする

を押す

- 「あつく」ボタンのランプが点灯します。

音声ナビ
「あつくを設定しました」 フルナビ ナビ1
「高温にご注意ください」

- 60℃のお湯が、循環金具から約20L出ます。

途中で停止するときは

あつく を再度押す

音声ナビ 「あつくを解除しました」

あつく（追いだき）

- 風呂自動運転中は湯はり設定温度プラス約1℃、風呂自動運転停止中は湯はり設定温度まで湯温を上げます。
- 風呂自動運転停止中に使うときは、循環金具より上方5cm以上に湯面があることを確認してください。

1 追いだきであつくする

あつく を**2秒以上**押す

- 「あつく」ボタンのランプが点灯します。

音声ナビ
「あつくを設定しました」
「高温にご注意ください」
ナビ1 フルナビ

追いだきが始まると

- 表示部に浴槽の温度が点滅で表示されます。

あつくが終了すると

音声ナビ
「♪チャイム♪」「あつくを終了します」
ナビ1 フルナビ

途中で停止するときは

あつく を再度押す

音声ナビ 「あつくを解除しました」

⚠警告

追いだき中や風呂自動運転のポンプ循環中は、循環金具から離れる

- 熱い湯が出てやけどすることがあります。

お湯を使うときは、お湯の温度を確認する

- やけどの原因になります。
- 入浴時やシャワー使用時は、指先などで湯温を確認してください。

浴槽にお湯がないときに「あつく」ボタンを押さない

- 熱い湯が出てやけどすることがあります。

たし湯

●たし湯は、たっぷりのお湯にしたいときに使います。

たし湯(たっぷりにするとき)

1 たし湯をする

※「給湯量NaVi」表示中は、どれかのボタンで、現在時刻を表示させてから、操作してください。

たし湯 を押す

音声ナビ 「たし湯を設定しました」フルナビ 「湯温にご注意ください」フルナビ

●1回押すと「湯はり設定温度表示」に示された温度のお湯が循環金具から20L出ます。

42℃ 20L イオン 42℃ たし湯

●3秒以内にもう一度押すと40L出ます。

42℃ 40L イオン 42℃ たし湯

音声ナビ 「♪チャイム♪」 「たし湯を終了します」フルナビ

途中で停止するときは
たし湯 を再度押す

ぬるく

お知らせ

あつく、たし湯、ぬるくについて

●湯はり中は、使えません。
●残湯量表示が一つもないときは操作できません。(エラー表示U:22が出ることがあります)

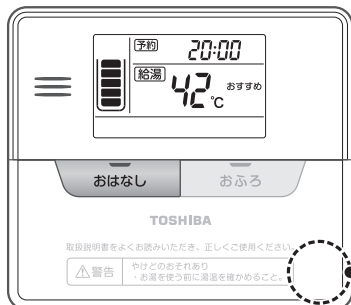
お願い

●追いだき、たし湯をするときは、タンク残湯量や浴槽の湯温を確認してください。温度が低いと、設定温度になるまでに時間がかかります。また、タンク内の温度が設定温度以下のときは温度が上がりません。
●浴槽水位が循環金具より下のときは、循環金具の上になるまで水を足してから追いだき、高温たし湯をしてください。
●追いだき、たし湯をすると、循環金具から熱いお湯が出ます。循環金具から離れてください。
また、最初に配管内の熱いお湯が出ることがありますので、やけどに気をつけてください。

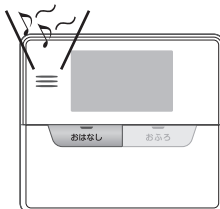
リモコンで会話する

●台所リモコンと浴室リモコンの間でインターホンとして使えます。
●交互に「おはなし」ボタンを押すたびに会話ができます。

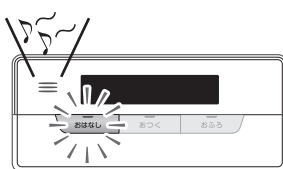
台所リモコン・浴室リモコン

（イラストはどちらもふたを閉じた状態です）

台所リモコンから呼び出して会話する例（浴室リモコンからも同じ手順で呼び出せます）

1 台所リモコンを送信状態にする

台所リモコン

おはなし を押す

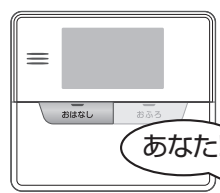
●チャイムが鳴り「おはなし」ボタンのランプが点灯します。（送信状態）

浴室リモコン

●チャイムが鳴り「おはなし」ボタンのランプが点滅します。（受信状態）

2 台所リモコンから会話をする

3 浴室リモコンから返事をする

台所リモコン

「おはなし」ボタンのランプが点灯中に、リモコンに話しかける

●チャイムが鳴り終わったら音声が送信できます。（会話の音量調節は38ページをご覧ください）

浴室リモコン

●台所リモコンの音声が受信されます。

おはなし を1回押す

おはなし を押す

●「おはなし」ボタンのランプが点灯に変わります。（送信状態）

「おはなし」ボタンのランプが点灯に変わったらリモコンに話しかける

4 繰り返す

以降繰り返す

●「おはなし」ボタンが点滅しているときは受信 状態です。「おはなし」ボタンを押してランプを点灯させると送信できます。

会話を終わるときは

●「おはなし」ボタンのランプが点灯しているときはもう一度「おはなし」ボタンを押します。また、会話終了後1分で自動的に終了します。

浴室事故を防ぐために

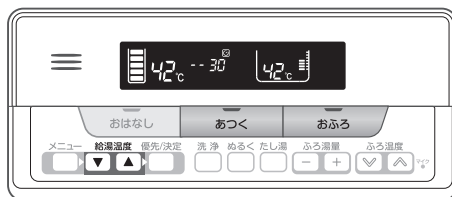
高齢者やお子様がひとりで入浴するときには、家族がときどき声をかけることが大切です。

お願い

●声の質などによってはインターホンが聞こえにくいときがあります。そのときは、話す人がなるべくマイクに近づいて話してください。また、リモコンのふたを開けて話しても、聞こえやすくやります。

入浴タイマーの使いかた

●半身浴など、時間を決めて浴槽に入るときなどに利用できる単機能タイマーです。

浴室リモコン

※「給湯量NaVi」表示中は、どれかのボタンで、現在時刻を表示させてから、操作してください。

1 「分」を設定する

おふろ 押しながら あつく を押す

が点灯し「**分**」を表わす部分が点滅

給湯温度 ▼ ▲ で調整

●点滅している「分」の部分を設定します。99分まで1分刻みで設定できます。
●「▲」で進み、「▼」で戻ります。
●「分」の点滅状態で5秒間放置すると現在時刻表示に戻ります。

2 タイマーをスタートさせる

おふろ を押す

※他の機能との連動はありません。

●設定された時間(分)が点灯しタイマーがスタートします。
●タイマー動作中に「優先/決定」ボタンを押すと、入浴タイマーは解除され、通常表示になります。
●タイマー動作中にお湯が出ていることを検出すると給湯量を表示(23ページ)し、給湯が終わると元の表示に戻ります。

設定時間が経過すると

「0」分になると、選択されているチャイム(35ページ)が鳴りタイマーは終了します。
給湯中もタイマーが終了すると、チャイムが鳴ります。
●タイマー動作中に「優先/決定」ボタンを押すと、入浴タイマーは解除され、通常表示になります。

風呂自動運転時間を変更する

●お買い上げ時は、風呂自動運転(自動保温・自動たし湯)を2時間継続する設定になっています。
●運転時間は0ー6時間の間を1時間刻みで変更できます。また、自動保温のみの設定もできます。

浴室リモコン

1 設定時間を表示させる

メニュー を押してから ▼ を１回押す

「**F1**」が点滅、「**2h**」と「**NaVi**」表示が点灯

優先/決定 押す

2 時間を変更する

給湯温度 ▼ ▲ で調整

●「▲」で進み、「▼」で戻ります。

0h~6h hは時間を表わします。	**自動保温と自動たし湯の運転時間** 0h:湯はり後停止 1h~6h:約1~6時間継続
U1h~U6h	**自動保温だけの運転時間** 約1~6時間継続
A0h	**定量湯はりのみ**

優先/決定 を押す

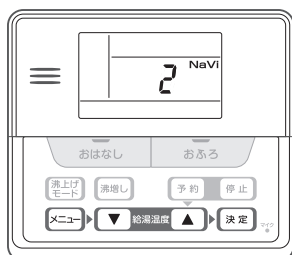
●表示部は、選ばれた時間が点灯し、NaVi表示 が消灯します。

3 通常表示に戻す

メニュー を押す

メニューを設定する

●台所リモコン、浴室リモコンの「メニュー」ボタンと「▲」「▼」ボタンの操作で、メニュー内容を設定できます。
●また、あらかじめ設定されたメニュー内容の変更もできます。

台所リモコン

表示順	表示・マーク	内容	参照ページ
1		時刻を合わせる	18
2		チャイムの種類を選ぶ	35
3		ナビゲーションの内容を選ぶ	36
4		ナビゲーションの音量を調節する	37
5		リモコンの会話音量を調節する	38
6		使ったお湯の量(合計)を見る	23

1 設定するメニューを呼び出す

メニュー を押してから ▼ 給湯温度 ▲ で選ぶ

●表示部にメニューのマークが点滅し、NaVi表示とあらかじめ設定されている数値や番号が点灯します。

決定 を押す

●表示部のメニューのマークが点灯に、あらかじめ設定されている数値や番号が点滅に変わります。

2 設定を変更する

▼ 給湯温度 ▲ で選ぶ

決定 を押す

●続けて**他のメニューを設定**するときは ▼ 給湯温度 ▲ で変えたいメニューの呼び出しから始める。

3 通常の表示に戻す

メニュー を押す

浴室リモコン

表示順	表示・マーク	内容	参照ページ
1	F3	チャイムの種類を選ぶ	35
2	F4	ナビゲーションの内容を設定する	36
3	F5	ナビゲーションの音量を調節する	37
4	F6	リモコンの会話音量を調節する	38
5	F8	使ったお湯の量(合計)を見る	23
6	F9	給湯量NaViの有無を設定する	39
7	F0	銀イオン運転の有無を設定する	29
8	F1	風呂自動運転時間を変える	33

「F0」～「F1」までの間に「FA」「Fb」「Fc」を表示しますがお客様での設定はございません。

1 設定するメニューを呼び出す

メニュー を押してから 給湯温度 ▼ ▲ で選ぶ

●表示部に「F数字」が点滅し、NaVi表示とあらかじめ設定されている数値や番号が点灯します。

優先/決定 を押す

●表示部の「F数字」が点灯に、あらかじめ設定されている数値や番号が点滅に変わります。

2 設定を変更する

給湯温度 ▼ ▲ で選ぶ

優先/決定 を押す

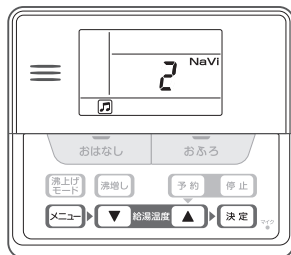
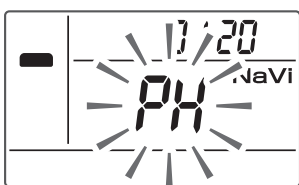
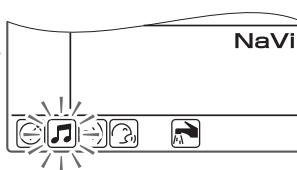
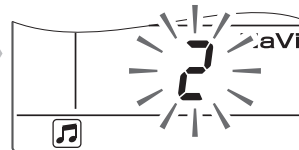
●続けて**他のメニューを設定**するときは 給湯温度 ▼ ▲ で変えたいメニューの呼び出しから始める。

3 通常の表示に戻す

メニュー を押す

チャイムの種類を選ぶ

●自動湯はりの終了時や、リモコンで会話するときの呼び出し時などに流れるチャイム(3種類)を選べます。

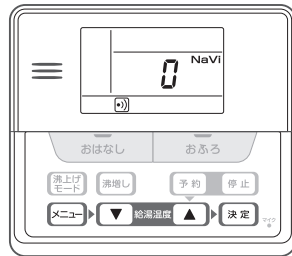
台所リモコン

浴室リモコン

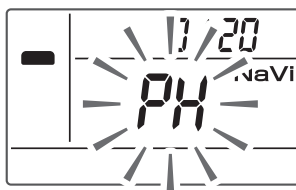
（つづく）

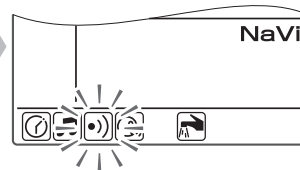
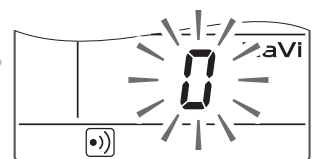
ナビゲーションの内容を選ぶ

※この設定は、それぞれのリモコンで個別に設定します。

●湯はりの準備から終わりまでや、操作の状況を音声でお知らせするナビゲーションを選べます。

台所リモコン

ボタン ＼ 表示	0:フルナビ	1:ナビ1	2:ナビ2
おふろ	○	○	湯はり終了音
給湯温度	○	○	
沸上げモード	○		
沸増し	○		
予約	○		
停止	○		
エラー	○	○	○

1 ナビゲーション選択メニューを呼び出す

メニュー を押す

▲ を3回押し
•))を点滅させる

決定 を押す

●「0」はお買い上げ時の設定値です。

2 ナビゲーションを選ぶ

▼ 給湯温度 ▲ で「0～2」から選ぶ
（上の表を参照）

決定 を押す
●選ばれた番号が点灯し、NaVi表示が消灯します。

3 通常の表示に戻す

メニュー を押す

浴室リモコン

ボタン ＼ 表示	0:フルナビ	1:ナビ1	2:ナビ2
おふろ	○	○	湯はり終了音
あつく	○	○	
給湯温度	○	○	
たし湯	○		
ぬるく	○		
優先/決定	○	○	
エラー	○	○	○
給湯ナビ音	○		

1 ナビゲーション選択メニューを呼び出す

メニュー を押す

▲ を3回押し
「F4」を点滅させる

●「0」はお買い上げ時の設定値です。

優先/決定 を押す

●「F4」が点灯し、「0」が点滅します。

2 ナビゲーションを選ぶ

給湯温度 ▼ ▲ で「0～2」から選ぶ
（上の表を参照）

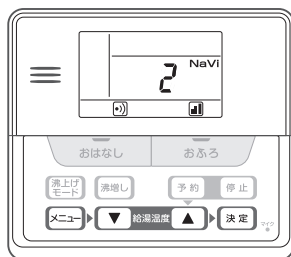
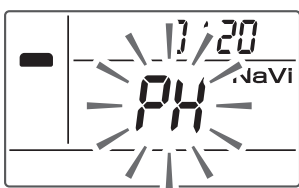
優先/決定 を押す

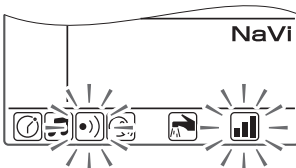
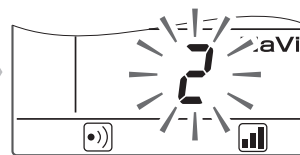
3 通常の表示に戻す

メニュー を押す

ナビゲーションの音量を調節する

●ナビゲーションの音量を台所リモコン、浴室リモコンで個別に調節できます。

台所リモコン

1 ナビゲーション音量の選択メニューを呼び出す

メニュー を押す

▲ を4回押し
を点滅させる

決定 を押す

●「2」はお買い上げ時の設定値です。

2 ナビゲーションを選ぶ

表示	内容
0	ナビゲーションなし
1	「音量」は最小
2	「音量」は標準
3	「音量」は最大

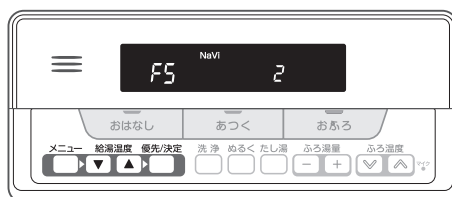
▼ 給湯温度 ▲ で「0～3」から選ぶ

●「▲」で進み、「▼」で戻ります。

決定 を押す

3 通常の表示に戻す

メニュー を押す

浴室リモコン

1 ナビゲーション音量の選択メニューを呼び出す

メニュー を押す

▲ を4回押す
「F5」を点滅させる

●「2」はお買い上げ時の設定値です。

優先/決定 を押す

●「F5」が点灯し、「2」が点滅します。

2 ナビゲーションを選ぶ

表示	内容
0	ナビゲーションなし
1	「音量」は最小
2	「音量」は標準
3	「音量」は最大

給湯温度 ▼ ▲ で「0～3」から選ぶ

●「▲」で進み、「▼」で戻ります。

優先/決定 を押す

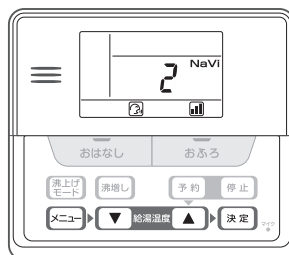
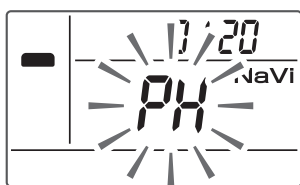
3 通常の表示に戻す

メニュー を押す

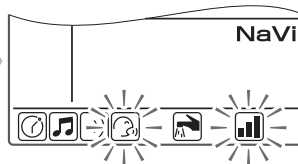
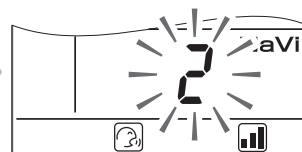
（つづく）

リモコンの会話音量を調節する

●「おはなし」ボタンを使って会話するとき相手側から聞こえてくる声の大きさを、台所リモコン、浴室リモコンで個別に調節できます。

台所リモコン

1 リモコン会話音量ナビを呼び出す

メニュー を押す

▲ を5回押す

（会話・音量アイコン）を点滅させる

決定 を押す

●「2」はお買い上げ時の設定値です。

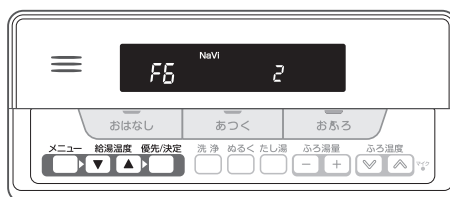
2 ナビゲーションを選ぶ

表示	内容
1	「音量」は最小
2	「音量」は標準
3	「音量」は最大

▼ 給湯温度 ▲ で「1～3」から選ぶ

●「▲」で進み、「▼」で戻ります。

決定 を押す

3 通常の表示に戻す

メニュー を押す

浴室リモコン

1 リモコン会話音量ナビを呼び出す

メニュー を押す

▲ を5回押し「F6」を点滅させる

●「2」はお買い上げ時の設定値です。

優先/決定 を押す

●「F6」が点灯し、「2」が点滅します。

2 ナビゲーションを選ぶ

表示	内容
1	「音量」は最小
2	「音量」は標準
3	「音量」は最大

給湯温度 ▼ ▲ で「1～3」から選ぶ

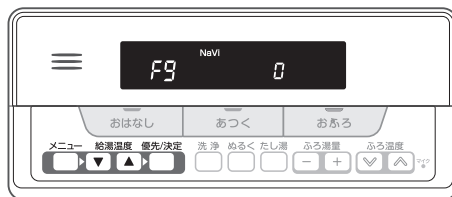
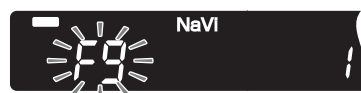
●「▲」で進み、「▼」で戻ります。

優先/決定 を押す

3 通常の表示に戻す

メニュー を押す

給湯量NaViを表示させない

浴室リモコン

設定値を工場出荷に戻す

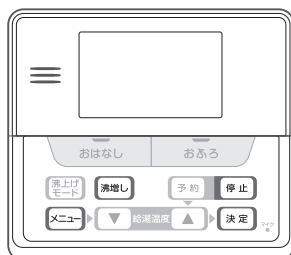
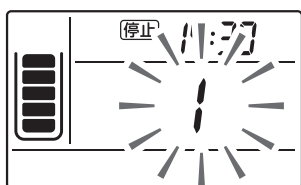
- 学習データを初期設定に戻す場合は、「お湯の使用量を再学習させる」(49ページ)にて行ってください。
- メニュー設定で設定したそれぞれの設定や学習データを、一括で工場出荷状態に戻せます。
- この操作後、初期設定になるため「全量沸増し」運転を始めます。

※入浴タイマーの設定値は、初期値には戻りません。

台所リモコン

注意

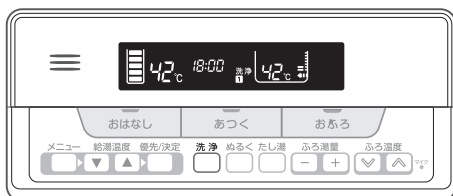
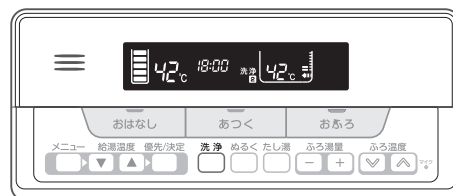
ヒートポンプ運転中の操作

禁止

・故障の原因となりますので、必ず手順1で運転を停止させてください。

お手入れする

風呂循環配管の洗浄

●貯湯タンクユニットと浴槽を繋ぐ風呂循環配管は、期間を決めて洗浄してください。洗浄には、週に１・２度行う「洗い流し洗浄（洗浄１）」と、月に一度行う「洗浄剤を使う自動洗浄（洗浄２）」があります。

浴室リモコン

洗浄１

洗浄２

週に1・2度 ➡洗い流し洗浄（洗浄1）

音声ナビゲーションについては36ページを参照

1 準備する

2 洗浄する

浴槽の残り湯を排水し、排水栓は開けたままにする

●風呂自動運転中は、排水栓を抜く前に風呂自 動運転を停止させてください。（「おふろ」ボタンを押し、そのランプを消す）

洗 浄 を押す

「洗浄１」が点灯し、矢印が点滅

「風呂循環金具」から水またはぬるま湯が14L出て洗浄します。

音声ナビ
「洗 浄 を 開 始 します。排水栓を開けてください。」フルナビ

3 洗浄終了

洗浄が終わると音声でお知らせします

音声ナビ
「洗浄を終了します。」フルナビ

月に一度 ➡洗浄剤を使う自動洗浄（洗浄2）

1 準備する

浴槽の残り湯が、循環金具より5cm以上、上まであることを確認する

●残り湯が足りないときは、足してください。風呂自動運転は、停止させてください。（「おふろ」ボタンを押し、そのランプを消す）

洗 浄 を2秒以上押す

「洗浄2」が点灯し、矢印が点滅

音声ナビ
「洗 浄 を 開 始 します。排水栓を閉めて洗浄剤を入れてください。」フルナビ

2 洗浄する

洗浄剤を入れる

●**自動で約20分間循環運転し、洗浄します。**

洗浄が終わると音声でお知らせします

音声ナビ
「♪チャイム♪」
「洗浄を終了します。排水栓を開けてください。」フルナビ

3 排水後

排水栓を閉め、もう一度手順1から洗浄剤を入れないで繰り返す（すすぎ）

お願い

●洗浄剤は、当社推奨品の「クリーンリル」（ショーワ株式会社取扱品：電話 058-232-1131）または「ジャバ１つ穴用」（ジョンソン株式会社）に限ります。

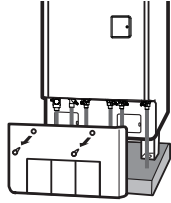
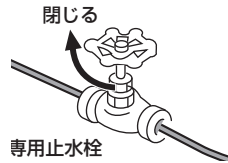
●洗浄を行うとタンク内の湯温が下がります。洗浄は、なるべくその日の入浴後に行ってください。

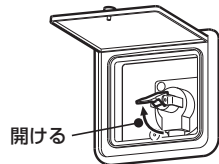
●長期間「洗浄２」を行わないと、機器の故障原因になります。定期的に行ってください。

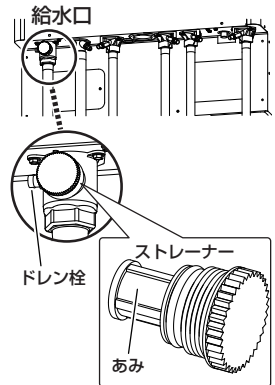
ストレーナーの掃除

●お湯および水の出が悪くなったら、給水口のストレーナーの掃除が必要です。

脚部カバー(別売)を取り付けている場合は、フロントカバーをはずしてください。

●前面2カ所の黒いねじを回してはずします。
●フロントカバーを操作する場合は手袋をしてください。けがをすることがあります。

1 専用止水栓を閉じる

2 機器のブレーカー(配線用しゃ断器)を「切」にする

3 逃し弁レバーを立てて逃し弁を開け、約1分間タンク内の圧力を抜く

4 貯湯タンクユニット下部にある給水口のストレーナーをはずし、アミを掃除する

❶ドレン栓をゆるめ、配管内に残っている水を抜く
❷ストレーナーキャップをはずす
❸水を流しながらブラシなどでよく洗う

5 ストレーナーキャップを組み込み、締め付ける

6 専用止水栓を開き、水漏れがないか確認する

7 機器のブレーカーを「入」にする

脚部カバーのフロントカバーをはずした場合は、取り付けてください。

タンク内の掃除

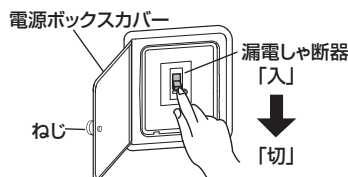
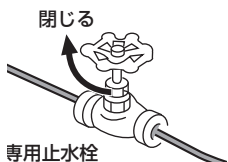
●いつもきれいなお湯が使えるように、年に2〜3回はタンクの底に、沈殿した水アカなどを排水口から出してください。
●タンク内の掃除は一度湯はりをした後にしてください。
●湯はりすると熱いお湯が使われ、代わりに底の方から給水されるため、排水口から熱いお湯が出るのを防ぎます。

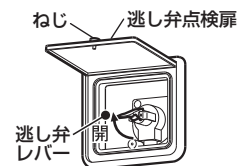
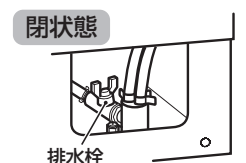
⚠注意

禁止

タンクの熱湯は直接排水しない

• やけどをすることがあります。
• 湯はりなどを行い、お湯を使いきってから排水してください。

1 電源ボックスカバーを開け、漏電しゃ断器のレバーを「切」にする

2 専用止水栓を閉じる

3 排水点検扉を開け、排水栓を開く

4 逃し弁点検扉を開け、逃し弁レバーを立てて約2分間開く

5 汚れた水がきれいな水になったら、排水栓を閉じ排水点検扉を閉める

6 排水が終わったら、専用止水栓を開く

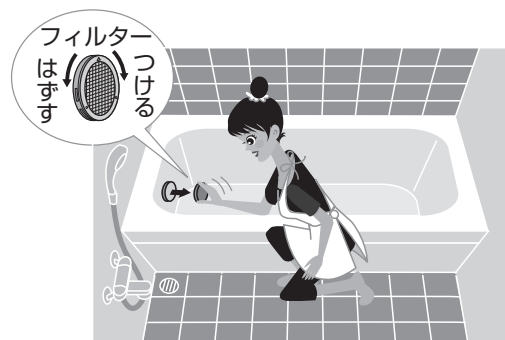
7 排水トラップに水が出てくるまで逃し弁を開く(見えないときは音で確かめる)

8 漏電しゃ断器のレバーを「入」にする

(つづく)

46〜47ページの図を見ながら行ってください

循環金具の掃除

- 浴槽内のフィルターをはずし、1週間に1回程度掃除をしてください。
  フィルターが目詰まりすると、正常な湯はり・風呂自動運転ができないでエラー表示が出ることがあります。
- 掃除後はフィルターを確実に取り付けてください。
  フィルターを取り付けないで使うと、故障の原因になります。

リモコンの掃除

- 表面の汚れは、水に濡らしたやわらかい布をかたく絞って、軽くふき取ります。
  洗剤およびシンナー・ベンジン・アルコールなどは使わないでください。
- リモコンの内部には電気部品が入っていますので、水をかけないようにしてください。

断水・水道工事があるとき

- 断水や工事が行われる前に、専用止水栓を閉じてください。
  濁った水がストレーナーに詰まり、湯量を減らしたりお湯が濁ったりする原因になります。
- 断水や工事が終わったら、専用止水栓を開き、水がきれいになったことを確かめてから機器を使ってください。

長期間使わないときは

タンク内のお湯を排水する

- 排水管が熱で変形しないように、タンク内のお湯を使いきり、水になってから排水してください。（46ページ「排水・水抜き方法」）

再度、使うときは

- タンクが満水になったことを確認後、通電の準備をしてください。（47ページ）
- 翌日使うときは、給湯栓から配管内の空気や蒸気が最初に出ます。やけどに注意してください。

⚠注意

指示

1カ月以上使わないときは、漏電しゃ断器を「切」にして、タンクの排水をする

- 水質が変化します。

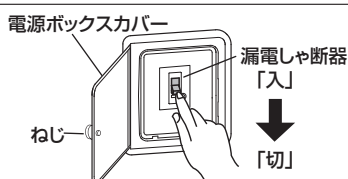
点検する

事故を防ぐために、以下の点検を必ず行ってください。

漏電しゃ断器の動作確認

- 漏電しゃ断器は、万一漏電したとき自動的に電気を切るための安全装置です。
- 月に1回、漏電しゃ断器の動作確認を通電時間内にしてください。

1 アース線が途中で切れていないか確認する

2 電源ボックスカバーを開け、テストボタンを押す
- 漏電しゃ断器のレバーが「切」になれば正常です。

3 必ずレバーを「入」に戻し、電源ボックスカバーを閉じる
- 電源ボックスカバーは確実にねじを締めてください。

⚠警告

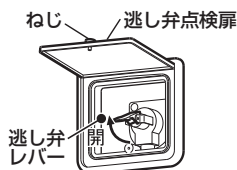
指示

漏電しゃ断器の動作を定期的（月に1回）に確認する

- 故障したまま使うと、漏電したときに感電の原因になります。

逃し弁の動作確認

- **年に2～3回は、逃し弁のレバーを立てて動作確認をしてください。**

レバーを立てたとき排水し、戻したときに排水が止まれば正常です

お知らせ

- 逃し弁の弁部に水アカが付着したり、異物をかみ込んだりすると、逃し管より先にお湯が流れ出て、湯量不足の原因になります。
- 逃し弁は水からお湯になるときの膨張分を排水し、タンクを守る安全装置です。正常に動作しないと、タンクが変形し水漏れや故障の原因になります。

⚠ 警告

接触禁止

逃し弁の点検時には、逃し弁排水管に触れない

- やけどの原因になります。

お願い

- 逃し弁の動作確認のために脚立などを使うときは、転倒しないように十分気をつけてください。

水漏れの点検

- **貯湯タンクユニットの設置場所に水漏れがないか確認してください。水漏れがあるときは、配管システムまたは機器に異常があります。**

凍結防止の確認

- **44ページの「凍結を防ぐために」の「凍結防止ヒーターで温める方法」をご覧ください。**

⚠ 注意

指示

水漏れを点検する

- 特に集合住宅では、漏水が階下へ被害を与えます。
- 日常点検してください。

凍結防止対策を確認する

- 配管が破損してやけどをすることがあります。

定期点検（有料）

本製品を長期間安心してお使いいただくために、3～4年に1回の定期点検をおすすめします。
点検費用については、販売店にご相談ください。
定期点検で見つかった不都合な部品は、保証期間中は無料で取り替えます。（消耗部品の保証期間は2年間です。）

定期点検の主な内容

- **据付状態の点検**

  貯湯タンクユニット設置面、配管状態（断熱処理など）、電気配線、アースなどの確認、ヒートポンプユニットの据付状態、システムの水漏れ確認

- **部品の点検**

  貯湯タンクユニット弁類（減圧弁、逃し弁、ミキシングバルブ）、電気部品（制御基板）、ポンプ、逆流防止装置の点検、ヒートポンプユニット電気部品（制御基板）、圧縮機の点検

- **清掃**

  タンク内の清掃、貯湯タンクユニットのストレーナーの清掃

消耗部品・劣化しやすい部品

●減圧弁　●逃し弁　●ミキシングバルブ　●電磁弁（簡易ホッパー）　●ポンプ
●二方弁　●三方弁　●水位センサー　●銀イオン発生ユニット

※部品交換のときは、当社純正部品をご指定ください。

5年保証に関する免責事項

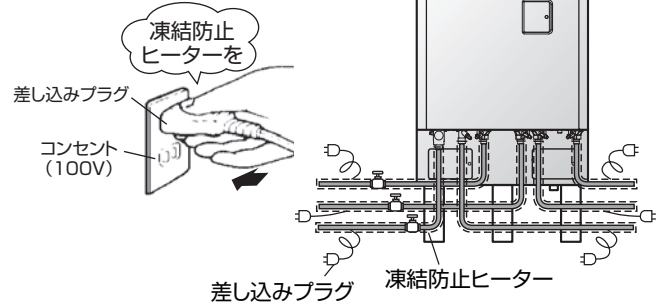
57ページに5年保証に関する免責事項が記載してあります。大変重要な内容ですので、必ずお読みください。

凍結を防ぐために

●凍結すると配管などが破損するおそれがあります。
●凍結を防ぐために以下の方法がありますので、各々への対応をしてください。

凍結防止ヒーターで温める方法

気温がマイナス5℃以下になると、保温工事をしていても凍結のおそれがあります。工事説明書通りの凍結防止ヒーターによる保温工事をしてください。

●水が凍る時期には、全ての配管の凍結防止ヒーターの差し込みプラグを100Vのコンセントに差し込んでください。
また、凍結の心配のない時期になったら、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

ヒートポンプユニットの自動運転による方法

●外気温が下がると、循環ポンプが運転します。
●さらに、温度が下がると沸き上げモードに関係なく、ヒートポンプユニットを自動的に運転して、ヒートポンプ配管の凍結を防止します。（凍結防止ヒーターによる加温は必要です。）

お願い

●電源は「入」のままにしてください。通電していないと凍結防止のための運転ができません。

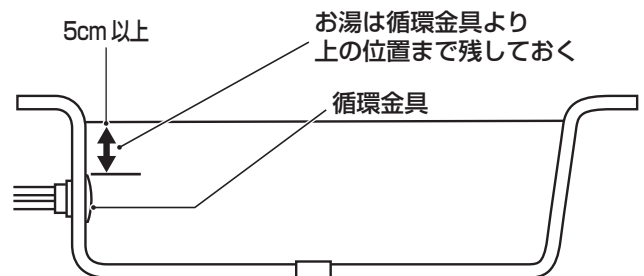
浴槽にお湯を残す方法

●外気温が下がると、風呂循環ポンプによって浴槽に残ったお湯を循環させて、凍結を防ぎます。

お願い

●必ず浴槽にはお湯を残してください。お湯がないと、凍結防止のための循環ができません。
循環路の凍結防止工事が確実にされている場合は、浴槽のお湯を抜いても問題ありません。（貯湯タンクユニット内には凍結防止ヒーターが付いています）
●電源は「入」のままにしてください。
通電していないと凍結防止のための循環ができません。

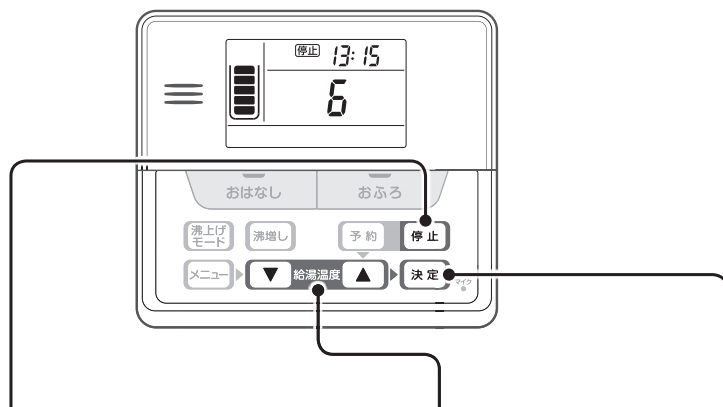
お知らせ

●中間期（初冬・初春）でも、外気温によっては風呂循環ポンプが運転することがありますが、異常ではありません。
●浴槽にお湯を残していない場合でも、外気温が下がると風呂循環ポンプが運転し、循環金具からお湯（水）が出ることがありますが、異常ではありません。

粉雪対応運転について（寒冷地向けのみ）

●ヒートポンプユニットは、停止中も外気温によりファンを運転することがあります。

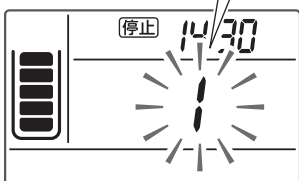
一時的に使わないとき

●旅行などで家を留守にしてお湯を使わないときは、沸き上げを停止できます。
●沸き上げ停止期間は、1～15日と連続停止が設定できます。
●台所リモコンを設置していない場合は、沸き上げ停止を設定できません。

台所リモコン

1 停止させる日数を決める

2 決定する

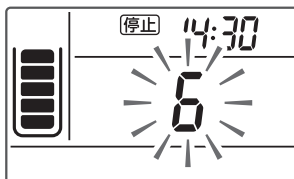
停止 を押す

「停止」が点灯し、「1」が点滅

●「1」はお買い上げ時の設定値です。

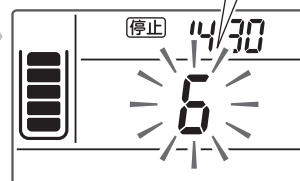
▼ 給湯温度 ▲ で調整

●「▲」で日数が増え、「▼」で減ります。

停止日数の決めかた

●6泊7日の旅行の場合は、出発する日に停止日数「6」を入力します。設定すると、1日経過するたびに表示日数が減ります。

（例）6を選んだとき

決定 を押す

選ばれた日が点灯

音声ナビ

「停止日数を設定しました。」

フルナビ

音声ナビゲーションについては36ページを参照

沸き上げ停止を解除するときは

停止 を2秒以上押す

●表示部が通常の表示に戻ります。

●「1」を設定すると、設定当日昼間の沸き上げ、沸き増しを停止します。
●「F」を設定すると、沸き上げ停止解除するまで沸き上げを連続停止します。

お願い

●冬期で凍結のおそれがあるときは、沸き上げ停止を設定しないでください。凍結防止のための循環運転を行います。

長期間使わないとき

- 長期間お使いにならないときは、以下の手順に従って、各部の排水および水抜きをしてください。
  長期間お使いにならないと、タンクの水が変質するおそれがあります。必ず全て排水してください。
- タンク内のお湯を排水するときは、排水管が熱で変形しないように、タンク内のお湯を使いきり水になってから排水してください。

排水・水抜き方法

1 漏電しゃ断器のレバーを「切」にする
- 漏電しゃ断器は電源ボックスカバーの中にあります。

2 専用止水栓を閉じる

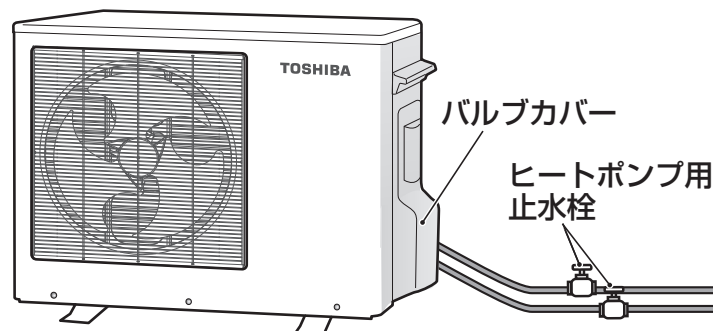
3 逃し弁レバーを立て、逃し弁を開く
- 逃し弁レバーは逃し弁点検扉の中にあります。

4 排水栓を開く
- 排水栓は排水点検扉の中にあります。
- 約40～60分で水が抜けます。
- 熱湯が出るので注意してください。

5 貯湯タンクユニット8カ所、ヒートポンプユニット2カ所のドレン栓を開く（右図）
- 水や熱湯が勢いよく出ることがあります。
  注意してください。

6 貯湯タンクユニット8カ所、ヒートポンプユニット2カ所のドレン栓を閉じる（右図）

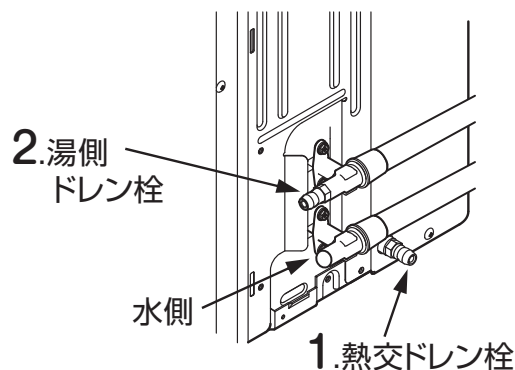
7 逃し弁レバーを戻し、逃し弁を閉じる

ヒートポンプユニット

ヒートポンプユニット 2 カ所のドレン栓

バルブカバーの中にあります。

<バルブカバーのはずしかた>

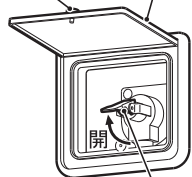
①バルブカバーを止めているねじ（3ヶ）をはずす
②下方へスライドさせる
③ツメ（2ヵ所）をはずし手前に引く

- ドレン栓を開くときは、下図の番号順に開いてください。

お願い
- 作業後は、電源ボックスカバー・逃し弁点検扉・排水点検扉は必ず閉めてねじを確実に締めてください。

貯湯タンクユニット

逃し弁

ねじ　逃し弁点検扉

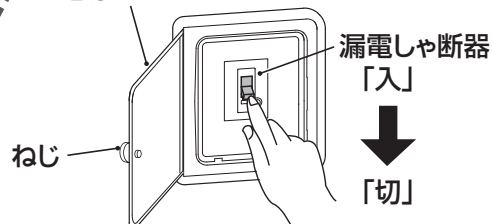
開

逃し弁レバー

※作業後は逃し弁点検扉を閉じ、ねじを確実に締めてください。

漏電しゃ断器

電源ボックスカバー

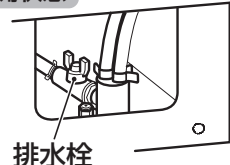
漏電しゃ断器
「入」
「切」

ねじ

※作業後は電源ボックスカバーを閉じ、ねじを確実に締めてください。

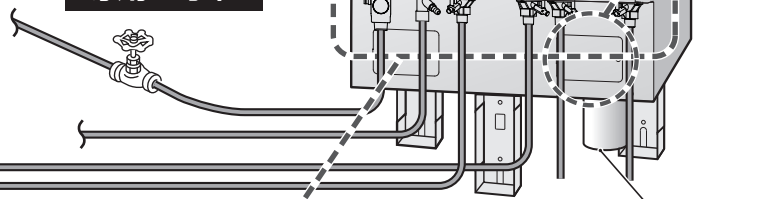
TOSHIBA
ESTIA

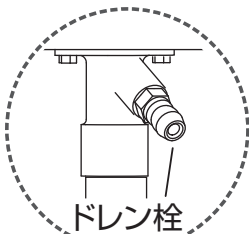
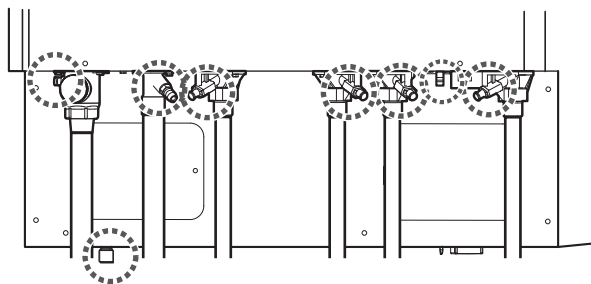
排水栓

排水点検扉
中に排水栓があります。

閉状態
排水栓

開状態
排水栓

※作業後は排水点検扉を閉じ、ねじを確実に締めてください。

専用止水栓

排水トラップ
（排水口の下）

貯湯タンクユニット 8 カ所のドレン栓

ドレン栓には、ねじタイプとスライドタイプがあります。
※スライドタイプは、反時計回りに回して手前に引くと水抜きができます。（必ず、専用止水栓を閉じて行ってください）　機種によっては、スライドタイプが使われていないこともあります。

再び使うとき

1 **逃し弁レバーを立て、逃し弁を開く**
●逃し弁レバーは逃し弁点検扉の中にあります。

2 **専用止水栓を開く**
●約20～40分で満水となり、排水トラップに水が出てきます。
（見えないときは、音で確認してください）

3 **満水になったら逃し弁レバーを戻し、逃し弁を閉じる**

4 **漏電しゃ断器のレバーを「入」にする**
●ポンプが約３分間、断続的に運転します。

5 **リモコンで時刻を合わせる（18ページ）**

▼

再使用できます

非常時にタンクの湯(水)を使う

●万一の災害による断水時に、タンクのお湯(水)を生活用水として利用できます。
●ご使用は非常時だけにしてください。

⚠警告

禁止

給水栓・排水栓を開けるときは熱湯に注意する
• やけどの原因になります。
• 給湯栓を開けた直後は水が出ますが、すぐに熱湯に変わります。

接触禁止

ヒートポンプ配管・接続口およびファンには触れない
• やけどをすることがあります。

⚠注意

禁止

そのまま飲用しない
• 長期間の使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによて水質が変わったりすることがあります。

非常用水の取りかた

1 漏電しゃ断器のレバーを「切」にする
●漏電しゃ断器は電源ボックスカバーの中にあります。

2 専用止水栓を閉じる

3 逃し弁レバーを立て、逃し弁を開く
●逃し弁レバーは逃し弁点検扉の中にあります。

4 ヒートポンプロドレン栓を開き、お湯(水)を出す
●開いてすぐは汚れた水が出ます。きれいになってからお使いください。

使用後は

5 ヒートポンプロドレン栓を閉じる

6 逃し弁レバーを戻し、逃し弁を閉じる

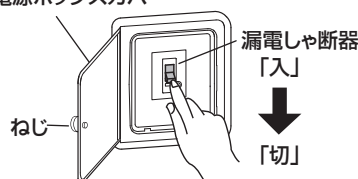
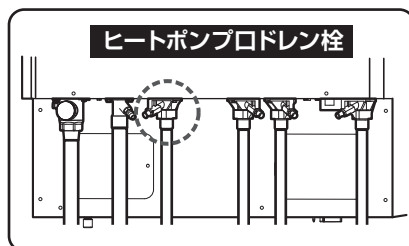
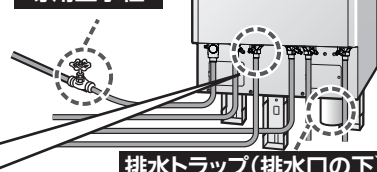
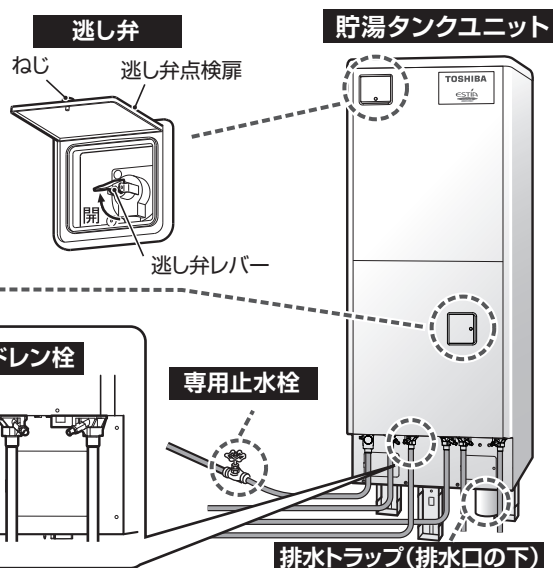
通常の運転への戻しかた

1 逃し弁レバーを立て、逃し弁を開く

2 専用止水栓を開く

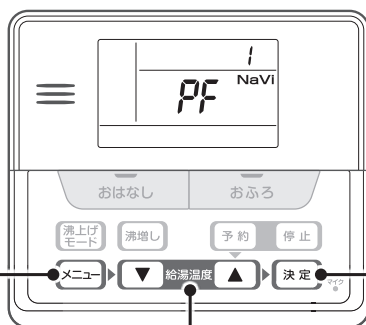
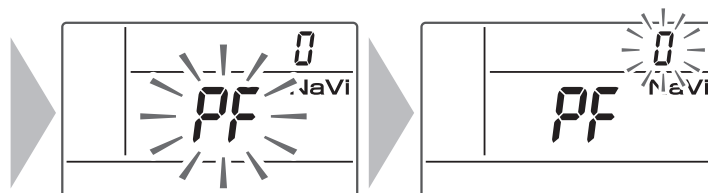
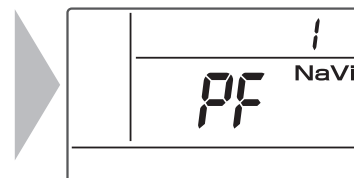
3 排水トラップに水が出てきたら、逃し弁レバーを戻し、逃し弁を閉じる
●見えないときは、水の音で確認してください。

4 漏電しゃ断器のレバーを「入」にする

5 リモコンで時刻を合わせる(18ページ)

お願い
●ご使用後は、電源ボックスカバー・逃し弁点検扉・排水点検扉は必ず閉めてねじを確実に締めてください。

お湯の使用量を再学習させる

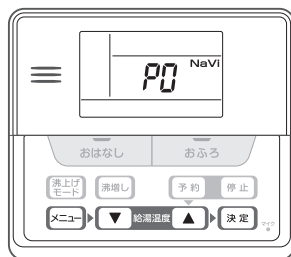
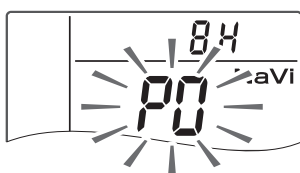
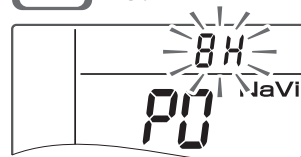
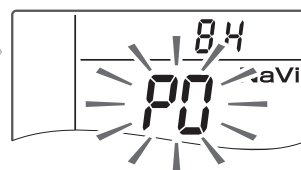
●給湯機がそれまでに学習してきたご家庭のお湯の使用量を、変更させる必要があるときに設定します。
例えば、同居されるかたが増えたときなどです。

台所リモコン

手順	操作		
1 学習させる準備をする	メニュー を2秒以上押す	▲ を2回押す	決定 を押す
2 再学習を選ぶ		▼ 給湯温度 ▲ で「1」を選ぶ	決定 を押す
3 表示部を元に戻す	メニュー を押す		

電力料金契約に合わせる

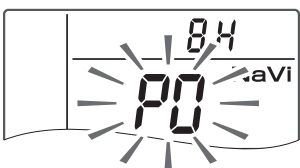
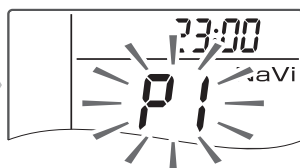
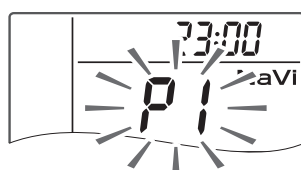
●この設定は、機器の設置もしくは電力料金契約の変更時に必要です。
契約内容については販売店または工事店にお問い合わせください。
●電力会社との契約内容にそって設定してください。

台所リモコン

通電時間帯を設定する

●給湯機が夜間電力を利用して自動で沸き上げる時間帯を設定します。

※間違った設定でご使用されますと思わぬ電気料金がかかる場合があります。

1 運転時間選択メニューを呼び出す
メニュー を2秒以上押す
決定 を押す
●「8H」はお買い上げ時の設定値です。

2 時間を選ぶ
▼ 給湯温度 ▲ で選ぶ
●「8H」⇔「9H」⇔「10H」と点滅しながら切り換わります。(Hは時間を表わす)
決定 を押す

3 通常表示に戻す
メニュー を押す

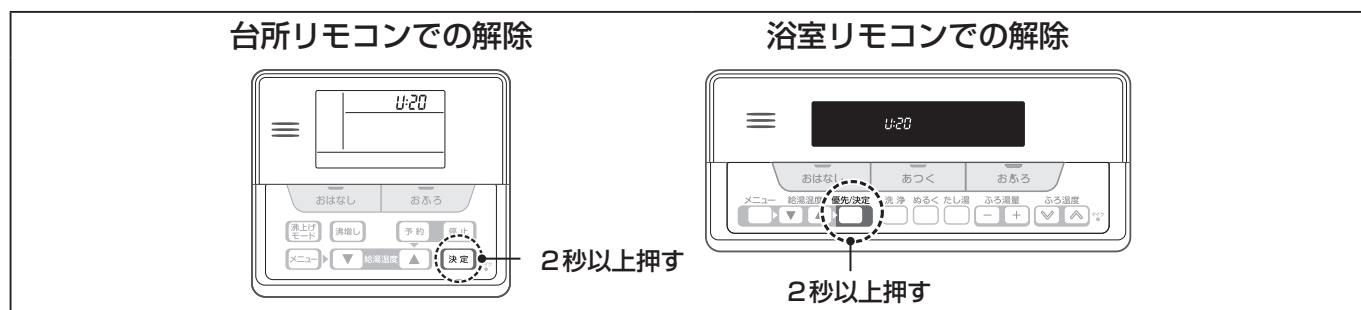
夜間時間帯の開始時刻を設定する

●夜間電力を利用して自動で沸き上げる運転開始時刻を設定します。

1 運転時間選択メニューを呼び出す
メニュー を2秒以上押す
▲ を1回押す
決定 を押す
●「23:00」はお買い上げ時の設定値です。

2 時刻を選ぶ
▲ を1回押す
●「20:00」⇔「21:00」⇔「22:00」⇔「23:00」⇔「0:00」⇔「1:00」と点滅しながら切り換わります。
決定 を押す

3 通常表示に戻す
メニュー を押す

こんな表示が出たときは

● 下の表にあるエラー表示が出た場合は、下の表に従って対処し、エラー解除を行ってください。
● 下の表以外のエラー表示が出た場合は、一旦、エラー解除を行ってください。

エラー表示	現象・原因	対処のしかた	参照ページ
U:20	• 湯はりをするときに、浴槽の栓をし忘れた。 • 「おふろ」ボタン点灯中に、浴槽の栓を抜いた。(循環検知エラー) • 循環金具まで届かない量で湯はりをした。	① リモコンでエラー解除を行う。 ② 浴槽の栓をする。 ③「ふろ湯量」設定を確認する。 ④ 湯はりをする。	24
	• 長期間、風呂循環配管洗浄(洗浄02)を行っていない。(浴槽の栓は、してある)	① リモコンでエラー解除を行う。 ② 風呂循環配管洗浄(洗浄02)を行う。 ③ 洗浄後に湯はりをする。	40
U:22	• 残湯量表示が無いのに「おふろ」ボタンを押した。 • 「おふろ」ボタン点灯中に、お湯を使いすぎ、残湯量表示が無くなった。	① リモコンでエラー解除を行う。 ② 「沸増し」を行い、残湯量表示が2/5以上になるのを待つ。 ③ 「おふろ」ボタンを押して湯はりする。	24
U:23	• 浴槽にお湯(水)が残ったまま「おこのみ」モードで湯はり量を設定してしまった。 • 浴槽の残り湯の温度が低いのに、湯はりをした。(「おすすめ」設定時)	① 浴槽のお湯(水)をすべて排水する。 ② リモコンでエラー解除を行う。 ③ 湯はりをする。	25,26
U:27	• 給湯機の専用止水栓が全開になっていないか、断水や配管凍結によって給水されないので、「おふろ」ボタンを押して60分過ぎても設定水位まで湯はりができない。	① 給湯機専用止水栓の全開、または断水や凍結の有無を確認する。 ② ①を解決する。 ③ リモコンでエラー解除を行う。	24,42
E:25	• 「おふろ」ボタン点灯中に、浴槽の栓を抜いた。(水位検知のエラー)	① 浴槽の栓をする。 ② リモコンでエラー解除を行う。	24
H: 1 H: 3	• 給湯機の専用止水栓が全開になっていないか、断水や配管凍結によって給水されないまま、「おふろ」ボタンを押した。	① 給湯機専用止水栓の全開、または断水や凍結の有無を確認する。 ② ①を解決する。 ③ リモコンでエラー解除を行う。	24,44

■エラー解除のしかた

このような時には

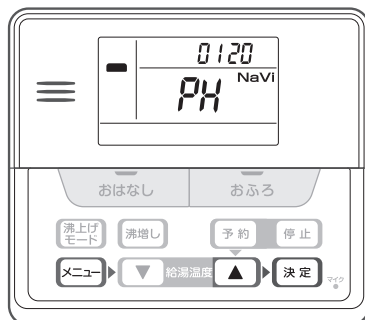
エラー解除を行っても再度、同じエラー表示が出る場合は、お買い上げの販売店または、東芝電気給湯機ご相談センターへ、ご連絡ください。

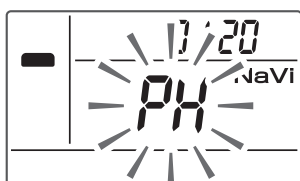
連絡先電話番号について

●異常が発生したときや修理が必要なときに、連絡先の電話番号を呼び出すことができます
●お買い求めの販売店の連絡先電話番号(1カ所)などが登録しておけます。

お買い上げ時は、0120-1048-19(東芝電気給湯機ご相談センター)が登録されています。

連絡先の呼び出しかた

台所リモコン

1 電話番号を自動送りで表示させる

を押す

●10秒経過するたびに、番号と残湯量表示の点灯数は、**市外局番→市内局番→加入者番号**の順に変わります。
●残湯量表示の点灯個数は、右上の番号の内容を次のように表わします。

残湯量表示	番号	お買い上げ時の設定値
▬	市外局番	0120
▬▬	市内局番	1048
▬▬▬	加入者番号	19

2 電話番号を手動送りで表示させる

[決定] を押す

連絡先を登録する場合
53ページ
『連絡先の登録のしかた』へ

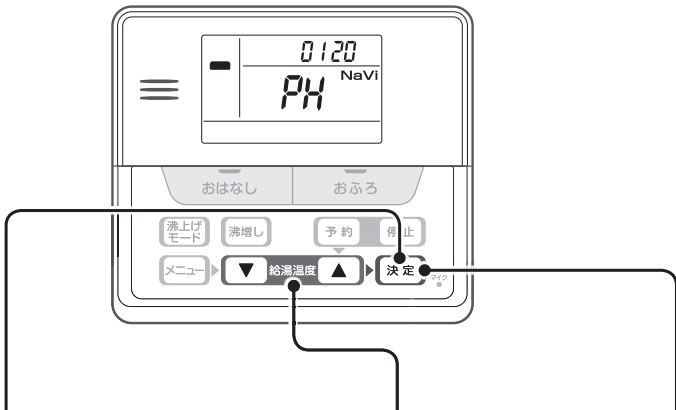
▶ [▲] を押す

●押すたびに、番号と残湯量表示の点灯数は、**市外局番→市内局番→加入者番号**の順に変わります。

通常の表示に戻すとき

[メニュー] **を押す** ●1回押すと 1の状態に、2回押すと通常表示に戻ります。

連絡先の登録のしかた

台所リモコン

52ページの手順に続いて

2 局番、番号を変更する

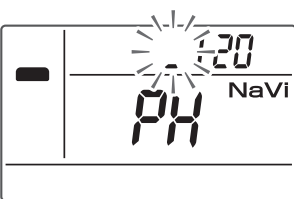
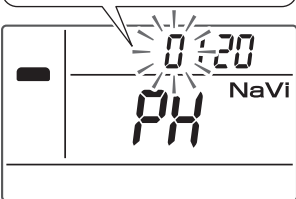
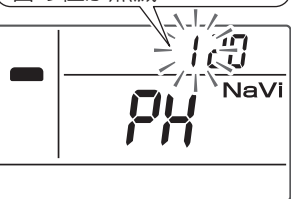
決定 を2秒以上押す

市外局番の千の位が点滅

▼ 給湯温度 ▲ で選ぶ

数字または「-」(ハイフン)、「＿」(スペース)を選ぶ

(例)「＿」を選んだとき

決定 を押す

市外局番の千の位が点灯、百の位が点滅

3 繰り返す

手順2を繰り返し、市外局番→市内局番→加入者番号の4桁全てに数字または「＿」、「-」を入れます。

4 設定を終了する

最後に、加入者番号の一の位を決定すると、点滅が終わり連絡先の呼び出し状況(52ページの手順2)になります。途中で「メニュー」ボタンを1回押しても52ページの手順2の状況になります。

電話番号	入力のしかた			呼び出したときの表示		
	市外局番〔▬〕	市内局番〔▬〕	加入者番号〔▬〕	市外局番〔▬〕	市内局番〔▬〕	加入者番号〔▬〕
03-5365-7420 →	_03-	5365	7420	03-	5365	7420
03-5365-7420 →	_03_	5365	7420	03	5365	7420
0120-1048-19 →	0120	1048	19__	0120	1048	19

「＿」は、呼び出した際には、表示されません。

故障かな？と思ったとき

●お問い合わせや、修理を依頼される前にご確認ください。

	状態	原因と対処方法	参照ページ
給湯	お湯が出ない お湯の出が悪い	●給水圧が低くないですか。(200kPa 以下) →お近くの水道局へ水圧の確認を依頼してください。	―
		●専用止水栓が閉まっていませんか。 →開けてください。	16 47
		●貯湯タンクユニットの給水口のストレーナーが詰まっていませんか。 →「お手入れする　ストレーナーの掃除」に従ってお手入れしてください。	41
		●断水していませんか。 →断水終了までお待ちください。 (お近くの水道局へお問い合わせください。)	―
		●配管部分が凍結していませんか。(凍結予防をされていますか) →お買い上げの販売店へご相談ください。	44
		●風呂自動運転中など、給湯以外でお湯を使用中は、蛇口やシャワーから出るお湯の量が少なくなることがあります。	―
	シャワーの出が悪い	●給水圧が低くないですか。(200kPa 以下) →お近くの水道局へ水圧の確認を依頼してください。	―
沸き上げ	お湯が沸かない	●ブレーカーが「切」になっていませんか。 ●貯湯タンクユニットの漏電しゃ断器が「切」になっていませんか。 →「入」にしてください。 ※二度、三度と「切」になるときは故障の場合がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。	17 47
		●リモコンの現在時刻が正しく設定されていますか。時刻が合っていないとお湯が沸き上がりません。 →「時刻を合わせる」に従って、設定してください。	18
		●「沸き上げ停止」になっていませんか。 →「一時的に使わないとき　解除するときは」に従って、解除してください。	45
	お湯が足りない	●夜間時間帯にお湯をたくさん使ったり、風呂自動運転をしたりしませんでしたか。 ●いつもに比べてお湯をたくさん使いませんでしたか。 →「多めに湯を沸かす (沸き増し)」に従って、沸き増ししてください。	21
		※この製品は貯湯式ですので、一度に使用できる湯量に限りがあります。 →「おすすめ」でお湯が足りない日が一週間以上続いた場合は、「沸上げ」モードを「たっぷり」に切り替えてみてください。	19
		●前日の浴槽の残り湯を追いだきしていませんか。 →追いだきはタンク内の熱量を消費します。寒い時期は「沸き上げ」モードを「たっぷり」に切り替えてみてください。	19
		●沸き上げていないときに排水口(逃し弁)からお湯が流れていませんか。 ※沸き上げ沸き増し中に排水口（逃し弁）から膨張水が排出されるのは正常です。	10
		→「点検する　逃し弁の動作確認」に従って、逃し弁が正常に動くか確認してください。お湯が止まらない場合は、逃し弁の交換が必要ですので、お買い上げの販売店にご相談ください。	43

	状態	原因と対処方法	参照ページ
湯温	お湯がぬるい	●給湯温度設定が低くないですか。 ●混合水栓の温度設定が低くないですか。 →給湯温度設定を、混合水栓の温度設定より約 10℃高く設定してください。 それでも湯温が上がらない場合は、混合水栓のメーカーにお問い合わせください。 ●貯湯タンクの底に沈殿物や水アカなどが溜まっていませんか。 →「お手入れする　タンク内の掃除」に従って掃除をしてください。	20 41
風呂（湯はり）	浴槽の湯温が上がらない	●沸き上げ運転中ではないですか。 →残湯量表示が点灯するまでお待ちください。 ●浴槽循環金具のフィルターが目詰まりしていませんか。 →「お手入れする　循環金具の掃除」に従って、お手入れしてください。 エラー表示「U20」が出ている場合は、「こんな表示が出たときは　エラー解除のしかた」に従ってエラー表示を解除してください。	22 42 51
	湯はりの水位がいつもと違う	●残り湯がある状態で、湯はりしませんでしたか。(湯はり量が多いとき) →必要に応じ、湯はりし直してください。 ●ふろ湯量（水位）が変更されていませんか。 →「湯はりをする　湯はり量」を参照して、お風呂の湯量を調整してください。 ●シャワーや混合水栓から湯を足したり、途中で湯はりを止めませんでしたか。	24 ー
リモコン	リモコンが操作できない	●操作ボタンがロックされていませんか。 →「各部のなまえとはたらき　リモコンボタン操作のロック」を参照し、ロックを解除してください。 ●表示部が消灯していませんか。(浴室リモコン) ●「給湯量 Navi」が表示されていませんか。(浴室リモコン) →現在時刻を点灯させてから操作してください。	12 14 ー 15
	浴室リモコンが全て消えている	●省エネのため、5 分以上操作しないと消灯します。 ただし給湯温度が 50℃、60℃に設定されているときは消灯しません。 →いずれかのボタン(「おはなし」ボタンを除く)を押すと再び点灯します。 →お湯を使うと再び点灯します。	15
	ナビゲーションの音が聞こえない	●「フルナビ」以外はナビゲーションの内容が制限されています。 また、音量を「0」にしていると、ナビゲーションしません。 →「ナビゲーションの内容を選ぶ・音量を調節する」を参照し、設定を確認してください。	36 37

故障かな？と思ったとき(つづき)

	状態	原因と対処方法	参照ページ
本体	ヒートポンプユニットが運転 / 停止をくり返す	●気温が低いときなどに、蒸発器の除霜のためや、ヒートポンプ配管の凍結防止のために運転 / 停止をくり返します。故障ではありません。	ー
	夜間時間帯に、ヒートポンプユニットが動いていない	●今までの使用湯量を考慮して、運転開始時刻を自動制御しています。異常ではありません。	ー
	排水口からお湯が出ている	●沸上げ運転中 (台所リモコン「沸上げ中」点灯時）に貯湯タンク内の水温が上昇して膨張し、逃がし弁が作動して排水されます。異常ではありません。	ー
	沸き上げ運転中、ヒートポンプユニットの蒸発器が霜で白くなる	●冬期運転中は霜がつくことがあります。異常ではありません。	ー
	沸き上げ運転中、ヒートポンプユニットの底板から水が出る	●大気から熱を吸収するときに結露し、水が出ることがあります。異常ではありません。	ー
その他	浴槽やタイルの目地が青くなる	●水に含まれる銅イオンと石けんなどに含まれる脂肪酸が反応したものです。毒性はなく、人体に害はありません。通水 (通湯）の繰り返しで、発生しにくくなります。	9
	お湯から油が出る、お湯が臭い	●初めてお使いになるときは、設置工事のときの油やにおいがお湯に混ざる場合がありますが、しばらく使うと消えます。	16
	お湯や水を止めるとき、「ゴン」というような衝撃音がする	●配管内を通る水が瞬間的に停止されたときに起こります。シングルレバー栓に起こりやすい現象です。 →水撃防止器を取りつけるなどして対応することができます。お買い上げの販売店へご相談ください。	17
残湯表示	残湯表示が一度に数個消える お湯を使っていないのに残湯表示が消える	●普段より多くお湯を使ったり、水からの沸かし直しや保温時間が長いときに起こります。異常ではありません。 ・**早めにお湯を使えるようにするには→「沸増し」を設定してください。** （使用できるまでの目安時間：シャワー 1 回分→約 40 分 / 入浴 1 回分→約 90 分） ・**今後表示を消えにくくしたい場合や、普段も多めにお湯を使う場合は** →「おすすめ」に設定している場合は「たっぷり」に変更してください。 →事前にお湯の使用量が多くなることが分かっている場合は、「沸増し」を設定してください。	33 21 19

■知っておいていただきたいこと

この給湯機は省エネルギーを目的として、お客様のお湯の使用量を毎日学習し、その量に見合った分を「沸き上げ」または「沸き増し」で、自動的に貯湯しています。そのため普段の使用量よりも、はるかに多い量のお湯を使用すると貯湯機能が追いつかず、残湯表示が一度に消灯する場合があります。
（直接お湯を使用していないと思われる、お風呂の追いだきや沸かし直しも、タンク内の熱量【温度】が使われています。）
このような場合は、沸き上げモードを「たっぷり」に変更するか、「沸き増し」を設定してください。
ただし「たっぷり」に変更しても、学習完了の期間 (約 1 週間)までは、足りなくなることがありますので、その場合は「沸き増し」を設定し、お使いください。
また、この給湯機は貯湯式のため、タンク内の温度が自然放熱して湯温が下がったときも、残湯表示が消えていきます。従って、お湯の使用を止めてしばらくしてから、残湯表示が消える場合もありますが、故障ではありません。

５年保証に関する免責事項について（重要なお知らせ）

●ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●少しでも長くお使いいただくために、取扱説明書の内容に従って定期的にお手入れと日常点検を行ってください。
●下記内容および取扱説明書・工事説明書の内容を守らなかったために発生した不具合については保証期間内であっても、無償保証の対象外となります。

●消耗部品（減圧弁、逃し弁、ミキシングバルブ、電磁弁（簡易ホッパー）、ポンプ、二方弁、三方弁、水位センサー、銀イオン発生ユニット）の交換。
※消耗部品の保証期間は２年間です。

●誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障および損傷。

●火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、海岸付近（塩害地向け製品を除く）、温泉地等の地域における塩害、腐食性の有毒ガス、浄化槽からの臭気等の空気環境に起因する不具合や異常電圧で生じた故障および損傷。

●お買い上げ後の落下や取付場所の移動、輸送などで生じた故障および損傷。

●保証書のご提示がない場合。

●保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書き換えられた場合。

●保証書の製造番号と本体の製造番号が一致しない場合。

●施工上の誤り、据付不良による故障および損傷。

●タンクに供給する水が以下の場合。

●水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を使用した場合。
※水質基準内であっても塩素濃度・石灰分・その他不純物の含有、また酸性水質の場合にはタンク・部品などの劣化を早め故障・水漏れの原因となる場合があります。

●温泉水・地下水・井戸水や塩分、石灰分、その他不純物が多く含まれていた場合や、酸性水質の場合。

●マンション等の貯水槽において、特に高濃度の塩素が含まれた水を製品に供給した場合。（タンク・部品の劣化を早め、故障・水漏れの原因となる場合があります。規定内の塩素濃度で管理された水をご使用ください。）

●電気・給水の供給トラブル・凍結等による故障および損傷。

●一般家庭用以外（例えば、業務用に使用、車両、船舶などへ備品として搭載、食品保存や機器の冷却などに使用された場合の故障および損傷。

●浴室など湿気の多い場所や他の機器の影響（振動など）による故障および損傷。

●降雪地で小屋がけしないで屋外に設置し、雪による故障および損傷。

●ねずみ・カエル・ヤモリ等の動物の行為に起因する不具合。

●経年変化または通常の使用損傷により発生する不具合。（音、振動、錆、傷、塗装の脱色など機能に影響のない範囲内の感覚的な現象の場合。）

●当社純正別売部品を使用せずこれが原因で本体不良となった場合。

●防水処理・排水処理されていない床面に設置された場合の水漏れによる二次被害。

●台所リモコンに水をかけた場合。（台所リモコンは防水タイプではありません。水をかけると故障の原因になります。
また浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかぶせたりしないでください。）

●機器の故障に起因した営業補償などの二次補償はいたしません。

●決められた電源以外でご使用された場合、あるいは海外で使用した場合。（本機種は日本国内専用です。）

■システム・ユニット形名対照表

●耐重塩害仕様は、各形名の末尾に「-GZ」が付きます。貯湯タンクユニット、ヒートポンプユニットの質量は下表と同等です。

	一般地			
システム形名	HWH-FB371C	HWH-FB461SC	HWH-FB461C	HWH-FB561C
耐塩害仕様	HWH-FB371C-Z	HWH-FB461SC-Z	HWH-FB461C-Z	HWH-FB561C-Z
貯湯タンクユニット形名	HWH-FB371CT	HWH-FB461SCT	HWH-FB461CT	HWH-FB561CT
耐塩害仕様	HWH-FB371CT-Z	HWH-FB461SCT-Z	HWH-FB461CT-Z	HWH-FB561CT-Z
ヒートポンプユニット形名	HWH-451CU	HWH-601CU	HWH-601CU	HWH-731CU
耐塩害仕様	HWH-451CU-Z	HWH-601CU-Z	HWH-601CU-Z	HWH-731CU-Z

■仕様表

システム形名	一般地向け（耐塩害仕様）			
貯湯タンクユニット+ヒートポンプユニット	HWH-FB371C（－Z）	HWH-FB461SC（－Z）	HWH-FB461C（－Z）	HWH-FB561C（－Z）
適用電力制度	季節別時間帯別電灯型・時間帯別電灯型〔通電制御割引対象商品〕			
電源定格	単相 200V（50Hz／ 60Hz共用）			
最大電流	17A	18A	18A	19A
沸上げ温度	約 65℃～約 90℃（水温・外気温により可変）			
年間給湯効率（APF）※1 ※2	3.3	3.2	3.2	3.1
仕向地	次世代省エネ基準Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ地域 ●次世代省エネ基準Ⅰ・Ⅱ地域での据え付けは出来ません。最低外気温がマイナス10℃を下回る地域では機器が故障するおそれがありますので据え付けないでください。 ●お湯の使用状態や外気温、自動保温運転などによって沸上げ温度は変化します。●外気温がマイナス5℃以下の場合の最高沸上げ温度は約80～85℃となります。			
用　途	セントラル給湯・ふろ全自動			
	2～5人家族用	4～7人家族用	4～7人家族用	5～8人家族用

貯湯タンクユニット形名	HWH-FB371CT（－Z）	HWH-FB461SCT（－Z）	HWH-FB461CT（－Z）	HWH-FB561CT（－Z）
貯湯タンクユニット　タンク容量	370L	460L	460L	560L
設置条件	屋外・屋内兼用			
外形寸法　幅	630mm	630mm	700mm	700mm
外形寸法　奥行	730mm	730mm	800mm	800mm
外形寸法　高さ	1800mm	2140mm	1810mm	2110mm
質量（満水時）	約66(436)kg	約75(535)kg	約75(535)kg	約86(646)kg
消費電力　風呂用ポンプ	65W			
消費電力　追いだき用ポンプ	40W			
消費電力　沸上げ用ポンプ	40W			
消費電力　凍結防止ヒーター	20W			
消費電力　制御用消費電力 ※9	5W			
最高使用圧力	190kPa（減圧弁設定圧力：170kPa）			
配管口径	給水・給湯：R3/4　排水：Rc3/4　ふろ循環・ヒートポンプ接続：R1/2			
給湯温度設定	27℃～48℃（1℃ステップ）、50℃、60℃			
浴槽の目安	120L～450L			
ふろ給湯機能	自動湯はり・自動保温・自動たし湯・追いだき・高温たし湯・たし湯・差し水・洗浄			

ヒートポンプユニット形名	HWH-451CU（－Z）	HWH-601CU（－Z）	HWH-731CU（－Z）
ヒートポンプユニット　外形寸法　幅	820mm		
外形寸法　奥行	320mm		
外形寸法　高さ	712mm		
質量	約59kg	約59kg	約64kg
中間期加熱能力 ※4 ※5	4.5kW	6.0kW	7.3kW
中間期消費電力 ※5	0.980kW	1.33kW	1.69kW
夏季加熱能力／消費電力 ※4 ※6	4.5kW / 0.880kW	4.5kW / 0.880kW	4.5kW / 0.920kW
冬季高温加熱能力 ※3 ※4 ※7	4.5kW	6.0kW	7.3kW
冬季高温消費電力 ※7	1.50kW	2.00kW	2.40kW
運転音(冬期/中間期) ※5 ※7 ※8	44/38dB	46/42dB	47/44dB
冷媒名	R744(CO_2)		
中間期COP ※5	4.6	4.5	4.3

年間給湯効率（APF）について

$$\text{年間給湯効率} = \frac{\text{一年で使用する給湯に係る熱量}}{\text{一年間で必要な消費電力量}}$$

※１年間給湯効率は（社）日本冷凍空調工業会の規格である「JRA4050:2007R」
に基づき、消費者の使用実態を考慮に入れた給湯効率を示すために、一年を通して、ある一定の条件※のもとにヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量を表したものです。なお、値は省エネモードである「おすすめ」設定で測定した値であり、実際には地域条件・運転モードの設定やご使用条件等により変わります。

※一定の条件とは、東京・大阪を平均した気象条件・給水温度で 42℃のお湯を一日に約 425L 使用する条件等を想定したものです。

※2 沸上げモード:「おすすめ」設定　※3 低外気温時は除霜の為、加熱能力が低下することがあります。　※4 沸上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。

※5 作動条件：外気温（乾球温度 / 湿球温度）16℃/12℃、水温 17℃、沸上げ温度 65℃※6 作動条件：外気温（乾球温度 / 湿球温度）25℃/21℃、水温 24℃、沸上げ温度 65℃

※7 作動条件：外気温（乾球温度 / 湿球温度）7℃/6℃、水温 9℃、沸上げ温度 90℃

■システム・ユニット形名対照表

●耐重塩害仕様は、各形名の末尾に「-GZ」が付きます。貯湯タンクユニット、ヒートポンプユニットの質量は下表と同等です。

	寒冷地		
システム形名	HWH-FB371CN	HWH-FB461SCN	HWH-FB461CN
耐塩害仕様	HWH-FB371CN-Z	HWH-FB461SCN-Z	HWH-FB461CN-Z
貯湯タンクユニット形名	HWH-FB371CTN	HWH-FB461SCTN	HWH-FB461CTN
耐塩害仕様	HWH-FB371CTN-Z	HWH-FB461SCTN-Z	HWH-FB461CTN-Z
ヒートポンプユニット形名	HWH-451CUN	HWH-601CUN	HWH-601CUN
耐塩害仕様	HWH-451CUN-Z	HWH-601CUN-Z	HWH-601CUN-Z

■仕様表

システム形名	寒冷地向け（耐塩害仕様）		
貯湯タンクユニット+ヒートポンプユニット	HWH-FB371CN（－Z）	HWH-FB461SCN（－Z）	HWH-FB461CN（－Z）
適用電力制度	季節別時間帯別電灯型・時間帯別電灯型〔通電制御割引対象商品〕		
電源定格	単相 200V（50Hz／ 60Hz共用）		
最大電流	17A	18A	18A
沸上げ温度	約 65℃～約 90℃（水温・外気温により可変）		
年間給湯効率(APF)※1 ※2	3.3	3.2	3.2
仕向地	次世代省エネ基準Ⅰ・Ⅱ地域 ●最低外気温がマイナス25℃を下回る地域では機器が故障するおそれがありますので据え付けないでください。 ●最低外気温がマイナス10℃を下回る地域では貯湯タンクユニットは屋内に設置してください。 ●お湯の使用状態や外気温、自動保温運転などによって沸上げ温度は変化します。		
用　途	セントラル給湯・ふろ全自動		
	2～5人家族用	4～7人家族用	4～7人家族用

貯湯タンクユニット形名	HWH-FB371CTN（－Z）	HWH-FB461SCTN（－Z）	HWH-FB461CTN（－Z）
貯湯タンクユニット タンク容量	370L	460L	460L
設置条件	屋外・屋内兼用		
外形寸法 幅	630mm	630mm	700mm
外形寸法 奥行	730mm	730mm	800mm
外形寸法 高さ	1800mm	2140mm	1810mm
質量（満水時）	約66(436)kg	約75(535)kg	約75(535)kg
消費電力 風呂用ポンプ	65W		
消費電力 追いだき用ポンプ	40W		
消費電力 沸上げ用ポンプ	40W		
消費電力 凍結防止ヒーター	30W		
消費電力 制御用消費電力 ※9	5W		
最高使用圧力	190kPa（減圧弁設定圧力：170kPa）		
配管口径	給水・給湯：R3/4　排水：Rc3/4　ふろ循環・ヒートポンプ接続：R1/2		
給湯温度設定	27℃～48℃（1℃ステップ）、50℃、60℃		
浴槽の目安	120L～450L		
ふろ給湯機能	自動湯はり・自動保温・自動たし湯・追いだき・高温たし湯・たし湯・差し水・洗浄		

ヒートポンプユニット形名	HWH-451CUN（－Z）	HWH-601CUN（－Z）
ヒートポンプユニット 外形寸法 幅	820mm	820mm
外形寸法 奥行	320mm	320mm
外形寸法 高さ	712mm	712mm
質量	約64kg	約64kg
中間期加熱能力 ※4 ※5	4.5kW	6.0kW
中間期消費電力 ※5	0.980kW	1.33kW
夏季加熱能力／消費電力 ※4 ※6	4.5kW / 0.880kW	4.5kW / 0.880kW
冬季高温加熱能力 ※3 ※4 ※7	4.5kW	6.0kW
冬季高温消費電力 ※7	1.50kW	2.00kW
運転音(冬期/中間期)※5 ※7 ※8	44/38dB	46/42dB
冷媒名	R744(CO_2)	R744(CO_2)
中間期COP ※5	4.6	4.5
凍結防止ヒーター	55W	55W

※８運転音は、JRA4050規格に準拠し、反響音の少ない無響室で測定した数値です。実際に据付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です。
※９中間期条件で、沸上げ、給湯などの動作がなく、リモコンは消灯（待機）した状態の時に測定した数値です。なお、台所リモコンと浴室リモコンを２個接続した状態で測定しています。
※仕様は改善のため変更することがあります。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

保証とアフターサービス

必ずお読みください

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝電気給湯機ご相談センター

フリーダイヤル **0120-1048-19**

受付時間:365日 24時間電話でお応えします。

携帯電話・PHSなど **03-5365-7420**（通話料：有料）

FAX **0947-32-2892**（通信料：有料）

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。

・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書（別添）

- ●この東芝ヒートポンプ給湯機には、保証書を別途添付しております。
- ●保証書は、必ず「お買い上げ日･販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- ●この東芝ヒートポンプ給湯機の保証期間は、お買い上げいただいた日から5年です。（ただし、消耗部品は2年間です）
- ●その他、詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- ●ヒートポンプ給湯機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後10年間です。
- ●補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- ●修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- ●修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは　出張修理

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、漏電遮断器を「切」にし、専用止水せんを閉じてからお買い上げの販売店にご相談ください。修理は専門の技術が必要です。

■保証期間中は

保証書の規定に従って、修理させていただきます。
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎている場合は

保証期間経過後の修理につきましては、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合にはご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は技術料･部品代･出張料などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

■ご連絡いただきたい内容

品名	ヒートポンプ給湯機
システム形名	HWH−□□□□□□□
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問希望日	
便利メモ	お買い上げの販売店名を記入されておくと便利です。 TEL.

★長年ご使用のヒートポンプ給湯機の点検を!

愛情点検

このような症状はありませんか。	●お湯の出が悪い。●お湯が早くなくなる。 ●逃し弁の逃し管から昼間、常にお湯が流れている。 ●設置場所が常にぬれている。 ●時々、漏電遮断器が働く。 ●その他の異常、故障がある。

▶

ご使用中止	故障や事故防止のため、漏電遮断器を「切」にし、専用止水せんを閉じてから、必ずお買い上げの販売店に点検修理（有料）をご相談ください。

東芝キヤリア株式会社

〒416-8521　静岡県富士市蓼原 336 番地
http://www.toshiba-carrier.co.jp/

EF99904601-⑥